



# 研修プログラムガイド 2015



四国地区大学教職員能力開発ネットワーク





## 研修プログラムガイド2015の発刊にあたって

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）」は、平成20年度文部科学省戦略的大学連携支援事業の採択を機に設立されました。平成23年度からは、加盟校からの分担金による自主運営体制に切り替わり、四国地区にある高等教育機関が連携して取組を継続しています。

本ガイドブックは、SPODネットワーク内で開催され、かつ加盟校が相互に参加可能なFD/SDプログラムを掲載しているものです。平成21年度より毎年作成され、加盟校の全教職員約7,000名に配布されています。ここに掲載されているプログラムは、授業改善のためのスキルや、学生支援の実践とコツ、カリキュラム改善や組織改善に関するものまで、実践的で多様な内容であり、各加盟校の抱える実状や教職員のニーズに応じて受講できるものとなっています。第2期教育振興基本計画において、学生の主体的な学びの確立に向けた大学教育の質的転換が求められる中、SPODでは、アクティブ・ラーニングに関するプログラムを多数開講するなど、時代のニーズに合わせたプログラムを提供しています。

平成26年度より本格的に始動したSPOD将来構想ワーキンググループでは、今後の事業運営について検討しています。加盟校の皆様や事業評価委員からいただいた意見をもとに、より良いプログラムを提供できるよう、引き続き取組内容について議論を重ねて参ります。

昨年度、SPODが提供したプログラムの受講者は延べ2,500名を超えました。四国地区の多くの教職員の皆様にSPOD事業をご活用いただいていることに深く感謝いたします。

引き続き加盟校の皆様には、ご協力・ご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク会長

愛媛大学長 **大橋 裕一**

# 研修プログラムガイド2015目次

研修プログラムガイド利用の手引き	3	FD/SDプログラム(教職員対象)	37
SPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)について	4	クリッカーで教育・研究が変わる!	38
はじめてSPOD研修プログラムを利用される方へ	9	New!! 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計-課題分析図の活用-	38
日程別プログラム一覧	10	学生を眠らせない講義法のコツ	39
開催大学別プログラム一覧	12	New!! 管理監督者のためのメンタルヘルス研修	39
テーマ別プログラム一覧	14	プロジェクトマネジメント	40
平成27年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧	16	ルーブリック評価入門-ブレない・速い・楽チン成績評価のスズメ-	40
研修プログラム		講義のための話し方入門	41
FDプログラム(教員対象)	17	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うための	
授業設計ワークショップ	18	インストラクショナル・デザイン(ID)入門-ARCS動機づけモデルの活用-	41
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	19	大人数講義法の基本	42
新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	20	New!! パワーポイントの基本的な使い方	42
New!! 始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・話し合いの技法編-	21	eラーニング活用(入門編)-学習支援システムMoodleを活用して	
New!! 始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・教え合いの技法編-	21	きめ細やかな学習支援を実現しよう-	43
New!! 始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・問題解決の技法編-	22	New!! 高等教育機関における安全衛生	43
大人数講義を魅力的にするテクニック	22	動画教材作成法	44
学生の学びを促すシラバスの書き方	23	アクティブラーニング入門セミナー	44
基礎から学ぶ学習評価法	23	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	45
New!! 「アカデミック・スキル」をどう教えるか	24	SDプログラム(職員対象)	47
「日本語技法」をどう教えるか①	24	次世代リーダー養成ゼミナール	48
「日本語技法」をどう教えるか②	25	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)	
会議マネジメント	25	【新任職員研修】	50
効果的なグループワークの進め方	26	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)第2回	51
授業デザインワークショップ	27	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルII)	52
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	28	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(共通科目)	53
アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	28	職員のための講師養成講座	54
学習評価の基本	29	ブレFDプログラム(大学院生対象)	55
効果的なeラーニング活用方法(超入門編)	29	ファシリテーション力養成道場	56
英語で授業をしたい教員のためのワークショップ	30	TA講習	57
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>	31	総合プログラム	59
学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	32	大学教育カンファレンス in 徳島	60
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン-考え方と進め方-	33	New!! 大学マネジメントセミナー	
授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと-質問が出る教室づくり-	33	-次世代リーダーを目指して- ~2回シリーズ~	61
学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方	34	愛媛大学教育改革シンポジウム	62
初年次科目のためのグループワークの技法	34	SPODフォーラム2015	63
能動的学習支援者必須!グループワークのためのファシリテーション入門	35	学内向け研修プログラム	65
New!! 授業効果を高めるために初回の授業ですべきこと		各種研修プログラムの	
-受講生のやる気スイッチをONにする-	35	お申し込み・お問い合わせについて	72

# 研修プログラムガイド利用の手引き

## 〈検索方法について〉

本ガイドブックは、教職員の皆様に、様々なニーズから研修プログラムを探していただくために下記の3つの検索方法があります。

### ○日程別プログラム一覧 p.10 ~ 11

各研修プログラムを、日程順に掲載しています。日程から研修プログラムを検索したい場合に便利です。また、開催大学や内容（教員対象か職員対象かなど）についてもあわせて掲載しておりますので、ご参照ください。

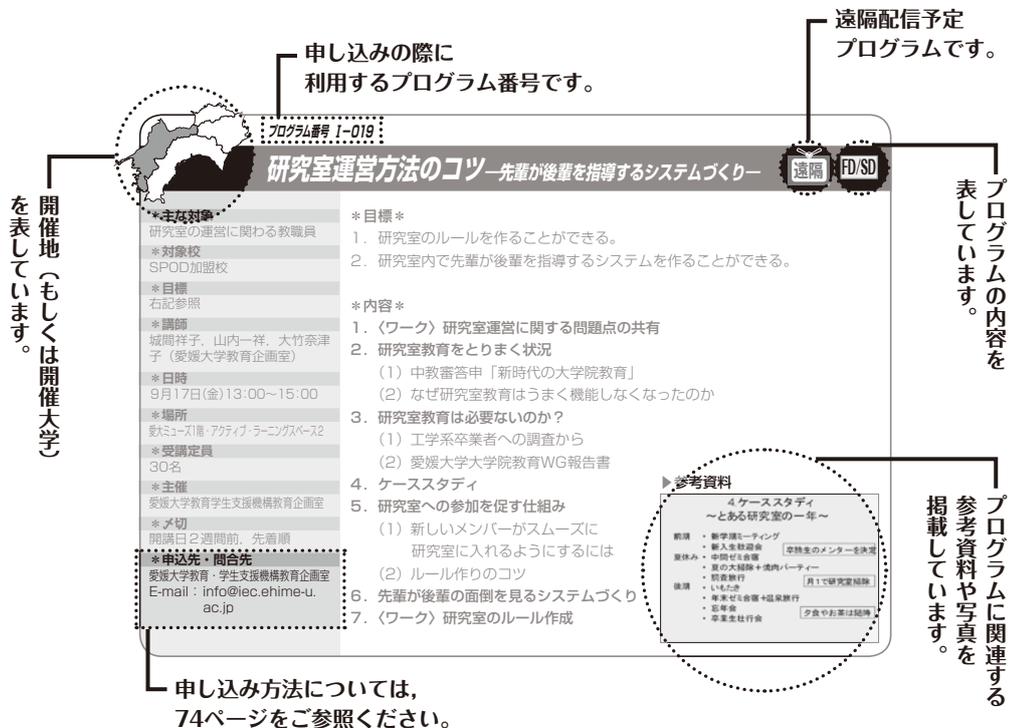
### ○開催大学別プログラム一覧 p.12 ~ 13

各研修プログラムを、開催大学別に掲載しています。開催大学から研修プログラムを検索したい場合に便利です。なお、遠隔配信の欄にマークが付いているプログラムは、システムが整備されている加盟校への遠隔配信を予定しているものです。遠隔配信の申し込み方法については、p.74 をご参照ください。

### ○テーマ別プログラム一覧 p.14 ~ 15

各研修プログラムを、テーマ別に掲載しています。内容から研修プログラムを検索したい場合に便利です。なお、開催大学についてもあわせて掲載しておりますので、ご参照ください。

## 〈研修プログラムの表記について〉



〈注〉各研修プログラムの日時、講師等の詳細が未定の箇所につきましては、問い合わせ先にご確認ください。また、プログラムの詳しい内容が決まり次第、SPODホームページ (<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>) に掲載していきますので、ご参照ください。

# SPOD(四国地区大学教職員能力開発ネットワーク)について

## ◇概要

四国地区大学教職員能力開発ネットワークは、FD/SD事業のネットワークであり、平成20年度の文部科学省戦略的大学連携支援事業としてスタートし、現在、四国地区にある33の全ての高等教育機関が加盟するネットワークへと成長しています。

四国地区大学教職員能力開発ネットワークは、「Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education」の頭文字をとって「SPOD」と呼ばれています。

## ◇目標

SPODの全加盟校が連携してネットワーク事業を展開し、FDとSDという2つの事業の効率化、高度化、実質化を行うことで、教育の質の保証を図り、学生の豊かな学びと成長を支援する、実践的な力量をもった高等教育のプロフェッショナルの輩出を目指しています



## ◇運営体制

SPODは、安定した運営体制に特徴があります。徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学の4大学をネットワークコア校とし、FD/SD/事務担当者が月に1回程度集まり、ネットワークコア運営協議会を開催し、教職協働で事業の実施、運営上の諸課題を協議しています。このことが、ネットワークコア校間の教職員の関係を密にし、事業の推進力となっています。ネットワークコア校は、各県内加盟校のとりまとめや、県内加盟校会議を通じての情報提供のほか、各加盟校に対して、各種プログラムを提供し、プログラムに対する意見収集や、ニーズ把握調査の実施により、SPOD加盟校全体のニーズに対応できるよう日々プログラムの見直しを行っています。また、ネットワークコア校のFD/SD担当者が直接、加盟校を訪問する研修講師派遣事業も行っています。

さらに、全加盟校へ本事業の情報を提供するため、ホームページ上への研修講師プロフィールの掲載や研修資料の提供、定期的なメールマガジンの配信を行っています。

SPODでは、取組をよりよいものに改善していくため、外部の有識者3名で構成される事業評価委員会を設置しています。事業評価委員会では、毎年、SPODが作成した活動報告書をもとに、書面により事業評価を行っています。その評価結果をもとに、事業の改善や推進を行っています。

## ◇取組内容

(FD)

1. 全学的なFDの実践的指導者であるFDer（ファカルティ・ディベロッパー；FDファシリテーター）を養成するための体系的プログラムの開発，実施
2. 教員としてのキャリアパスの早い段階において，基礎的な内容を学習できるように新任教員，大学院生，ポストク向け標準的FD・プレFDプログラムの開発，実施

※特に，新任教員を対象とする研修の標準化を目指し取組に力を入れています。

3. 各種FDプログラムの体系化・標準化に向けた開発，実施
4. 教員の教育業績記録を可視化するためのティーチング・ポートフォリオの開発

※1～3の取組を進めるにあたり，国立教育政策研究所高等教育研究部での研究成果を積極的に活用し，SPOD内のみならず，日本全国のモデルになるようプログラム開発を推進しています。また4は，大学評価・学位授与機構と連携しながら取組を推進しています。

(SD)

1. 階層別，専門分野別のSDプログラムの開発，実施
  - a) 経営者，管理者養成プログラムの開発，実施
  - b) 専門職養成プログラムの開発，実施
  - c) 次世代リーダー養成ゼミナールの開発，実施
2. 職員の職歴や業績を可視化するためのスタッフ・ポートフォリオ（職員業績記録）の開発
3. 1と2の取組を実質化するための職員キャリアアップサポートの実施  
具体的には，開発したスタッフ・ポートフォリオを活用しながら，キャリアアップ支援の実施や，国公私を通じた職員人事交流などを実施していきます。

※SDを実践的に指導・支援するSDC（SDコーディネーター）の養成も行っています。

(SPODフォーラム) ※p.63参照

SPODが，大学・高専の教職員自らの能力開発のために，多種多様で質の高いFD／SDプログラムを集中的に実施し，組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場として毎年夏期3日間にわたり提供しているイベントで，本事業の目玉企画です。

## SPOD-FDについて

### 【SPOD-FDの定義】

SPODにおけるFDは，教育・学習効果を最大限に高めることを目指した，

(1)授業改善，(2)カリキュラム改善，(3)組織整備・改革 への組織的な取組の総称です。

#### (1) 授業改善 (Instructional Development)

個々の授業をより良いものにするための取組みです。具体的には，授業評価アンケート，教員相互の授業参観，授業コンサルテーション，教授法に関する講演会，シンポジウム，ワークショップ，セミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

・新任教員研修 ・各種スキルアップ系研修 ・各種公開セミナー

〈各大学での取組例〉

・教員相互の授業参観，授業講評会 ・学生による授業評価アンケート  
・各種セミナー ・学生との意見交換会

#### (2) カリキュラム改善 (Curriculum Development)

学部，学科，課程，コース等において提供されるカリキュラムや教育プログラムをより良いものにするための取組です。具体的には，カリキュラム・ポリシーの制定，授業科目の新設・改廃，授業科目間の関連性の検討，カリキュラムの現状診断・評価・開発，またこれらに関わるセミナーなどがこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

・ファカルティ・ディベロッパー \* 養成講座  
・カリキュラム改善に関するセミナー

〈各大学での取組例〉

・カリキュラム・ポリシー制定に関する学内FD研修会

- ・カリキュラム・ポリシーに対応した各授業科目の授業内容の検討
- ・カリキュラム・マップの作成 ・副専攻制導入の検討

### (3) 組織の整備・改革 (Organizational Development)

教育・学生支援に関わる組織の構造や組織間の関係をより機能的なものにするための取組です。具体的には、教育・学生支援に関わる委員会の設置・改廃、各委員会の役割の検討、組織の現状診断・評価・再編、組織間での連携協力、管理職等を対象とした各種研修会がこれにあたります。

〈SPODでの取組例〉

- ・ファカルティ・ディベロッパー\* 養成講座

〈各大学での取組例〉

- ・SPODに関するFD実施体制の構築
- ・FD委員会等組織の見直し
- ・学科・コースの再編及びそれに伴う教員の再配置
- ・教育重点型教員の配置

(1), (2)においては、組織レベルのみならず教員個人レベルにおける取組も重要です。そして、(1), (2), (3)いずれにおいても、常にPDCAサイクルを意識して、持続的に改善を図る姿勢が肝要であると考えます。

\*ファカルティ・ディベロッパー (FDer) とは、FDの責任者として、各種研修プログラムの企画・実施や各教員への教育技術の支援を行う専門家です。教育技術のみならず、カリキュラムの改善や組織整備等も担います。高等教育センター等に所属しますが、学部にも所属している教員が、FDファシリテーターとして兼任でその役割を担うことも多くあります。

### 【SPOD-FDプログラムのレベルについて】

国立教育政策研究所が開発したFDマップを利用して、本ガイドブックに掲載されているSPOD-FDプログラムのレベル分類をおこなっています。FDマップとは、FDプログラムを体系的に整理できる枠組です(図参照)。FDマップでは、横軸にFDプログラムを実施する対象を示し、「ミクロ・レベル(授業・教授法の開発)」「ミドル・レベル(カリキュラム・プログラム開発)」「マクロ・レベル(組織の教育環境・教育制度の開発)」に分類しています。そして縦軸にFDを実施する対象者の能力開発の段階を示し、「Ⅰ. 導入(気づく・わかる)」「Ⅱ. 基本(実践できる)」「Ⅲ. 応用(開発・報告できる)」「Ⅳ. 支援(教えられる)」と4つのフェーズに分かれています。

本ガイドブック「テーマ別索引」(p.14)に、各プログラムのレベルとフェーズを提示しておりますのでご参照ください。

レベル フェーズ	ミクロ 個々の教員 授業・教授法	ミドル 教務委員 カリキュラム・ プログラム	マクロ 管理者 組織の教育環境・ 教育制度
Ⅰ. 導入 (気づく・わかる)			
Ⅱ. 基本 (実践できる)			
Ⅲ. 応用 (開発・報告できる)			
Ⅳ. 支援 (教えられる)			

図. FDマップのフレームワーク

参考・引用文献

国立教育政策研究所 FDer研究会『大学・短大でFDに携わる人のためのFDマップと利用ガイドライン』国立教育政策研究所, 2009

## SPOD-SDについて

### (1) SPOD-SDの定義

SPOD-SDとは、地域の「知の拠点」である四国内の大学等の職員が組織的に共同開発した職員養成プログラムにより、『大学、短期大学、高等専門学校ジェネラリストとしての広汎な素養に加え、スペシャリストとして特定の分野における能力開発を行うことにより、高等教育のプロフェッショナルを育成する』取組を指す。このSPOD-SDにおける職員養成プログラムをSPOD-SDプログラムという。

学士課程答申では、大学職員の職能開発について現状と課題を整理し、改善に向けた方策を示しています。SPOD-SDにおいては、この現状と課題を踏まえ、大学等の職員として一般的に求められる大学人・社会人基礎力及び大学等における複数の業務領域での知見（総務、財務、人事、企画、教務、研究、社会連携、生涯学習など）を持ち、大学等における問題に関する知識・理解などを備えたジェネラリストの育成に加え、教育方法の改革の実践を支える人材、経営を支援する人材、国際交流を支援する人材及び地域連携を支援する人材など、特定の分野において、より高度な専門性を備えたスペシャリストの育成を目指しています。

また、SPOD-SDでは、大学等の職員に必要な資質とは、ジェネラリスト的な要素とスペシャリスト的な要素を統合したハイブリッドな要素を備えることであり、これが、高等教育のプロフェッショナルの養成につながると考えております。このため、SPOD-SDの定義を「大学等のジェネラリストとしての広汎な素養に加え、スペシャリストとして特定の分野における能力開発を行うことにより、高等教育のプロフェッショナルを育成する」こととしました。

### (2) SPOD-SDプログラムの開発

高等教育機関の職員は、大学人として社会人基礎力を持ち、高等教育を取り巻く環境や職員の果たすべき役割を的確に把握し、企画立案等に積極的に参画できる資質が求められています。このためSPOD-SDプログラムでは、管理運営や教育・研究支援までを含めた資質向上のための組織的な取組を可視化し、職場外研修（OFF-JT）及び職場内研修（OJT）を「意図的・計画的・持続的」に実施することにより、職員の能力開発の実質化を図ります。

なお、SPOD-SDプログラム等の開発・実施は、全加盟校による協働を目指しています。各県のコア校が中心となり、1) 職員がSDプログラム開発手法を学び、2) その上で、具体的なSDプログラムを開発し、3) 開発されたSDプログラムを実施し、4) 実施したSDプログラムの評価・改善を行います。

### (3) SPOD-SDプログラムの構成

SPOD-SDプログラムは次の3つの柱で構成されています。

#### 1) SPOD-SD大学（OFF-JT）

SPODにおける職員養成プログラムは、その養成プログラム全体を大学における課程の履修と想定しています。そのカリキュラムは共通教育、専門教育及び大学院における履修方式をとることとし、その課程認定については、認定必要単位を設定しています。

具体的には、SPOD-SD大学としてSDプログラムの単位認定制度を図のように構想しています。専門職養成課程として共通教育と専門教育の各プログラムを構築し、リーダー養成課程として次世代リーダー養成ゼミナール及び管理者・経営者養成プログラムを構築しました。

## 1. 専門職養成課程

大学職員の専門性を育成するSDプログラムを学士、修士、博士課程として位置づける。そのため、各専門領域を学部や研究科として位置づける。

	専門教育 (専門職養成プログラム)	共通教育 (基礎力養成プログラム)
学士課程 レベル 1 専門〇〇単位 共通〇〇単位	学務学部(研究科) 研究協力学部(研究科) 総務学部(研究科) 財務学部(研究科) 施設学部(研究科) 図書学部(研究科) 国際交流学部(研究科) 情報処理学部(研究科) 医事学部(研究科) . . .	大学人・社会人としての基礎力を養成するための共通研修科目
修士課程(専門) レベル 2 専門〇〇単位 共通〇〇単位		
博士課程(専門) レベル 3 専門〇〇単位 共通〇〇単位		

## 2. リーダー養成課程

大学のミドルリーダー、トップリーダーに必要な知識・技術・姿勢を育成するSDプログラムを修士、博士課程として位置づける。なお、修士課程(リーダー)を受講する際は、修士課程(専門)以上のプログラムを受講中または修了していることを原則とする。

修士課程(リーダー) 〇〇単位	次世代リーダー養成ゼミナール
博士課程(リーダー) 〇〇単位	経営者・管理者養成プログラム(高等教育トップリーダーセミナー)

図. SPOD – SD 大学構想図

さらに、SPOD – SDプログラムにより知識・能力を身につけた職員自らが、次のSPOD – SDプログラムの講師となり、次世代の職員を育成していくというサイクルを確立することで、SPOD – SDの取組を継続的に実施していくことが可能となります。

### 2) スタッフ・ポートフォリオ（職員業績記録）の作成（OJT）

職員個々人のキャリア形成に向けて、スタッフ・ポートフォリオ（職員業績記録）を作成します。これにより、大学等職員としての自己認識と方向性を明確にします。スタッフ・ポートフォリオの導入に当たっては、職員のキャリア・アップの参考となるものとします。

### 3) 職員キャリア・アップ・サポート制度（OJT）

キャリア・アップ・サポートとして、スタッフ・ポートフォリオに掲げる職員としてのビジョン及びゴールの目標設定や目標達成に向けて、上司が部下に対して相談、助言等を行うメンター制度を導入します。これにより、大学等の組織と職員個人の方向性を近づけることが可能となります。さらに、キャリア・アップを目指す職員が他大学への人事交流を希望する場合等のSPOD加盟校間における連絡・調整など、人事交流を円滑に推進するなどのサポートも実施します。

SPOD – SDプログラムは、国内の大学等における本格的な職員養成プログラムとなることを目指しています。このため、四国内における大学等の協働だけでなく、国内の各関係機関や学会等とも連携し、教員と職員が協働して開発することが肝要であると考えます。

## はじめて SPOD 研修プログラムを利用される方へ

### ◇授業を担当して間もない方へのおすすめプログラム

※シラバスの書き方や評価法、様々な授業方法などについて総合的・集中的に学ぶことができます。

プログラム名	開催日時	開催大学	詳細
授業設計ワークショップ	6月20日(土)～21日(日)	徳島大学	p.18
新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	9月18日(金)～19日(土)	香川大学	p.20
授業デザインワークショップ(第24回, 第25回)	7月4日(土)～5日(日)	愛媛大学	p.27
	9月1日(火)～3日(木)		
学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	9月1日(火)～2日(水)	高知大学	p.32

### ◇授業に参加型学習を取り入れたい方へのおすすめプログラム

プログラム名	開催日時	開催大学	詳細
始めよう!アクティブ・ラーニング協同学習・話し合いの技法編ー	9月28日(月)	香川大学	p.21
始めよう!アクティブ・ラーニング協同学習・教え合いの技法編ー	9月28日(月)	香川大学	p.21
始めよう!アクティブ・ラーニング協同学習・問題解決の技法編ー	9月29日(火)	香川大学	p.22
効果的なグループワークの進め方 ＜春期FD・SDスキルアップ講座＞	4月7日(火)	愛媛大学	p.26
アクティブ・ラーニング入門セミナー	12月24日(木)	愛媛大学	p.44
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ー考え方と進め方ー＜秋期FDセミナー＞	9月3日(木)	高知大学	p.33
初年次科目のためのグループワークの技法＜春期FDセミナー＞	3月24日(木)	高知大学	p.34
能動的学習支援者必須!グループワークのための ファシリテーション入門＜春期FDセミナー＞	3月24日(木)	高知大学	p.35

### ◇大学職員として基礎的能力を身につけたい方へのおすすめプログラム

プログラム名	開催日時	開催大学	詳細
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI) 第1回【新任職員研修】	5月13日(水)～15日(金)	香川大学	p.50
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI) 第2回	11月19日(木)～20日(金)	愛媛大学	p.51

# 日程別プログラム一覧

日程	プログラム名	開催大学	内容	遠隔配信	プログラムNo.	ページ
<b>4月</b>						
4月6日(月)	会議マネジメント <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD		I-001	p.25
4月6日(月)	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計- 課題分析図の活用- <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-011	p.38
4月7日(火)	学生を眠らせない講義法のコツ <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-012	p.39
4月7日(火)	効果的なグループワークの進め方 <春期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD		I-002	p.26
<b>5月</b>						
5月13日(水)~15日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)第1回【新任職員研修】	香川大学	SD		K-012	p.50
5月21日(木)~23日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	徳島大学	SD		T-005	p.48
5月22日(金)~23日(土)	大学マネジメントセミナー(第1回)	徳島大学	FD/SD		T-003	p.61
5月25日(月)	クリッカーで教育・研究が変わる!	香川大学	FD/SD		K-011	p.38
<b>6月</b>						
6月18日(木)~19日(金)	職員のための講師養成講座(第1回)「総論」	愛媛大学	SD		I-027	p.54
6月20日(土)~21日(日)	授業設計ワークショップ	徳島大学	FD		T-001	p.18
<b>7月</b>						
7月4日(土)~5日(日)	授業デザインワークショップ(第24回)	愛媛大学	FD		I-003	p.27
7月上旬	管理監督者のためのメンタルヘルス研修会	愛媛大学	FD/SD		I-013	p.39
7月11日(土)~12日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD		I-004	p.28
7月11日(土)~12日(日)	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	愛媛大学	FD		I-005	p.28
7月17日(金)~18日(土)	大学マネジメントセミナー(第2回)	愛媛大学	FD/SD		I-014	p.61
7月16日(木)~18日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	愛媛大学	SD		I-028	p.48
<b>8月</b>						
8月18日(火)	プロジェクトマネジメント <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-015	p.40
8月18日(火)	学習評価の基本 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD		I-006	p.29
8月21日(金)	ルーブリック評価入門- 早い・速い・楽チン成績評価のスズメ- <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-016	p.40
8月21日(金)	講義のための話し方入門 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-017	p.41
8月26日(水)~28日(金)	SPODフォーラム2015	愛媛大学	FD/SD			p.63
<b>9月</b>						
9月1日(火)~9月3日(木)	授業デザインワークショップ(第25回)	愛媛大学	FD		I-007	p.27
9月1日(火)~2日(水)	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	高知大学	FD		Y-001	p.32
9月3日(木)	講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン- 考え方と進め方- <秋期FDセミナー>	高知大学	FD		Y-002	p.33
9月4日(金)	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID) 入門- ARCS動機づけモデルの活用- <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-018	p.41
9月8日(火)	大人数講義法の基本 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD★		I-019	p.42
9月8日(火)	授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと- 質問が出る教室づくり- <秋期FDセミナー>	高知大学	FD*		Y-003	p.33
9月上旬	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(共通科目)	愛媛大学	SD		I-029	p.53
9月11日(金)	効果的なeラーニング活用方法(超入門編) <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD		I-008	p.29
9月14日(月)	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD		I-009	p.30
9月17日(木)	パワーポイントの基本的な使い方 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-020	p.42
9月18日(金)	eラーニング活用(入門編)- 学習支援システムMoodleを活用してきめやかな学習支援を実現しよう- <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-021	p.43
9月18日(金)~19日(土)	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	香川大学	FD		K-001	p.20
9月中旬	高等教育機関における安全衛生	愛媛大学	FD/SD		I-022	p.43
9月25日(金)	動画教材作成法 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	愛媛大学	FD/SD		I-023	p.44

日 程	プログラム名	開催大学	内容	遠隔配信	プログラムNo.	ページ
9月25日(金)~27日(日)	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>	愛媛大学	FD		I-010	p.31
9月28日(月)	始めよう！アクティブ・ラーニングー協同学習・話し合いの技法編ー	香川大学	FD		K-002	p.21
9月28日(月)	始めよう！アクティブ・ラーニングー協同学習・教え合いの技法編ー	香川大学	FD		K-003	p.21
9月29日(火)	始めよう！アクティブ・ラーニングー協同学習・問題解決の技法編ー	香川大学	FD		K-004	p.22
9月29日(火)	大人数講義を魅力的にするテクニック	香川大学	FD		K-005	p.22
9月30日(水)	TA講習	高知大学	プレFD		Y-010	p.57
<b>10月</b>						
10月14日(水)~15日(木)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅡ）	愛媛大学	SD		I-030	p.52
<b>11月</b>						
11月5日(木)~7日(土)	次世代リーダー養成ゼミナール（第3回）	高知大学	SD		Y-008	p.48
11月19日(木)~20日(金)	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルⅠ）第2回	愛媛大学	SD		I-031	p.51
<b>12月</b>						
12月3日(木)~4日(金)	職員のための講師養成講座（第2回）「マイクロティーチング」	愛媛大学	SD		I-032	p.54
12月24日(木)	アクティブ・ラーニング入門セミナー	愛媛大学	FD/SD		I-024	p.44
12月25日(金)	学生の学びを促すシラバスの書き方	香川大学	FD		K-006	p.23
12月25日(金)	基礎から学ぶ学習評価法	香川大学	FD		K-007	p.23
12月~1月中	大学教育カンファレンス in 徳島	徳島大学	FD*/SD		T-004	p.60
<b>1月</b>						
1月14日(木)	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	愛媛大学	FD/SD		I-025	p.45
1月20日(水)	学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方 <春期FDセミナー >	高知大学	FD		Y-004	p.34
1月21日(木)~22日(金)	次世代リーダー養成ゼミナール（第4回）	愛媛大学	SD		I-033	p.48
<b>2月</b>						
2月9日(火)~10日(水)	ファシリテーション力養成道場	高知大学	プレFD		Y-009	p.56
<b>3月</b>						
3月3日(木)	「アカデミック・スキル」をどう教えるか	香川大学	FD		K-008	p.24
3月7日(月)	「日本語技法」をどう教えるか①	香川大学	FD		K-009	p.24
3月7日(月)	「日本語技法」をどう教えるか②	香川大学	FD		K-010	p.25
3月24日(木)	初年次科目のためのグループワークの技法 <春期FDセミナー>	高知大学	FD		Y-005	p.34
3月24日(木)	能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門 <春期FDセミナー>	高知大学	FD*		Y-006	p.35
3月25日(金)	授業効果を高めるために初回の授業ですべきことー受講生のやる気スイッチをONにするー <春期FDセミナー>	高知大学	FD		Y-007	p.35
3月30日(水)	TA講習	高知大学	プレFD		Y-011	p.57
3月中	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	徳島大学	FD		T-002	p.19
3月中	愛媛大学教育改革シンポジウム	愛媛大学	FD*/SD		I-026	p.62

内容についての 説明	FD …………… 教員対象	SD …………… 職員対象
	FD*…………… 教員対象（学生・院生も参加可能）	プレFD …… 大学院生対象
	FD/SD …… 教職員対象	★…………… 遠隔配信のみのため愛媛大学内では受講不可

# 開催大学別プログラム一覧

大学名	プログラム名	日程	内容	遠隔配信	プログラムNo.	ページ
徳島大学	授業設計ワークショップ	6月20日(土)~21日(日)	FD		T-001	p.18
	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	3月中	FD		T-002	p.19
	大学マネジメントセミナー(第1回)	5月22日(金)~23日(土)	FD/SD		T-003	p.61
	大学教育カンファレンス in 徳島	12月末または1月上旬	FD*/SD		T-004	p.60
	次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	5月21日(木)~23日(土)	SD		T-005	p.48
香川大学	新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	9月18日(金)~19日(土)	FD		K-001	p.20
	始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・話し合いの技法編-	9月28日(月)	FD		K-002	p.21
	始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・教え合いの技法編-	9月28日(月)	FD		K-003	p.21
	始めよう!アクティブ・ラーニング-協同学習・問題解決の技法編-	9月29日(火)	FD		K-004	p.22
	大人数講義を魅力的にするテクニック	9月29日(火)	FD		K-005	p.22
	学生の学びを促すシラバスの書き方	12月25日(金)	FD		K-006	p.23
	基礎から学ぶ学習評価法	12月25日(金)	FD		K-007	p.23
	「アカデミック・スキル」をどう教えるか	3月3日(木)	FD		K-008	p.24
	「日本語技法」をどう教えるか①	3月7日(月)	FD		K-009	p.24
	「日本語技法」をどう教えるか②	3月7日(月)	FD		K-010	p.25
	クリッカーで教育・研究が変わる!	5月25日(月)	FD/SD		K-011	p.38
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)第1回 【新任職員研修】	5月13日(水)~15日(金)	SD		K-012	p.50
愛媛大学	会議マネジメント <春期FD・SDスキルアップ講座>	4月6日(月)	FD		I-001	p.25
	効果的なグループワークの進め方 <春期FD・SDスキルアップ講座>	4月7日(火)	FD	遠隔	I-002	p.26
	授業デザインワークショップ(第24回)	7月4日(土)~5日(日)	FD		I-003	p.27
	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	7月11日(土)~12日(日)	FD		I-004	p.28
	アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	7月11日(土)~12日(日)	FD		I-005	p.28
	学習評価の基本 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	8月18日(火)	FD		I-006	p.29
	授業デザインワークショップ(第25回)	9月1日(火)~9月3日(木)	FD		I-007	p.27
	効果的なeラーニング活用方法(超入門編) <夏期FD・SDスキルアップ講座>	9月11日(金)	FD		I-008	p.29
	英語で授業をしたい教員のためのワークショップ <夏期FD・SDスキルアップ講座>	9月14日(月)	FD		I-009	p.30
	ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>	9月25日(金)~27日(日)	FD		I-010	p.31
	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計 -課題分析図の活用- <春期FD・SDスキルアップ講座>	4月6日(月)	FD/SD		I-011	p.38
	学生を眠らせない講義法のコツ <春期FD・SDスキルアップ講座>	4月7日(火)	FD/SD		I-012	p.39
	管理監督者のためのメンタルヘルス研修会	7月上旬	FD/SD		I-013	p.39
	大学マネジメントセミナー(第2回)	7月17日(金)~18日(土)	FD/SD		I-014	p.61
	プロジェクトマネジメント <夏期FD・SDスキルアップ講座>	8月18日(火)	FD/SD		I-015	p.40

大学名	プログラム名	日程	内容	遠隔配信	プログラムNo.	ページ
愛媛大学	ルーブリック評価入門ーブレない・速い・楽チン成績評価のススメー ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	8月21日(金)	FD/SD		I-016	p.40
	講義のための話し方入門 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	8月21日(金)	FD/SD		I-017	p.41
	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門 ーARCS動機づけモデルの活用ー ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	9月4日(金)	FD/SD		I-018	p.41
	大人数講義法の基本 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	9月8日(火)	FD/SD★	 遠隔配信のみ	I-019	p.42
	パワーポイントの基本的な使い方 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	9月17日(木)	FD/SD		I-020	p.42
	eラーニング活用(入門編)ー学習支援システムMoodleを活用して きめ細やかな学習支援を表現しようー ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	9月18日(金)	FD/SD		I-021	p.43
	高等教育機関における安全衛生	9月中旬	FD/SD		I-022	p.43
	動画教材作成法 ＜夏期FD・SDスキルアップ講座＞	9月25日(金)	FD/SD		I-023	p.44
	アクティブ・ラーニング入門セミナー	12月24日(木)	FD/SD		I-024	p.44
	学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	1月14日(木)	FD/SD		I-025	p.45
	愛媛大学教育改革シンポジウム	3月中	FD*/SD		I-026	p.62
	SPODフォーラム2015	8月26日(水)~28日(金)	FD/SD			p.63
	職員のための講師養成講座(第1回)「総論」	6月18日(木)~19日(金)	SD		I-027	p.54
	次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	7月16日(木)~18日(土)	SD		I-028	p.48
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(共通科目)	9月上旬	SD		I-029	p.53
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅡ)	10月14日(水)~15日(木)	SD		I-030	p.52
	大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルⅠ)第2回	11月19日(木)~20日(金)	SD		I-031	p.51
	職員のための講師養成講座(第2回)「マイクロティーチング」	12月3日(木)~4日(金)	SD		I-032	p.54
	次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	1月21日(木)~22日(金)	SD		I-033	p.48
	高知大学	学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	9月1日(火)~2日(水)	FD		Y-001
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン ー考え方と進め方ー ＜秋期FDセミナー＞		9月3日(木)	FD		Y-002	p.33
授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと ー質問が出る教室づくりー ＜秋期FDセミナー＞		9月8日(火)	FD*		Y-003	p.33
学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方 ＜春期FDセミナー＞		1月20日(水)	FD		Y-004	p.34
初年次科目のためのグループワークの技法 ＜春期FDセミナー＞		3月24日(木)	FD		Y-005	p.34
能動的学習支援者必須！グループワークのための ファシリテーション入門 ＜春期FDセミナー＞		3月24日(木)	FD*		Y-006	p.35
授業効果を高めるために初回の授業ですべきこと ー受講生のやる気スイッチをONにするー ＜春期FDセミナー＞		3月25日(金)	FD		Y-007	p.35
次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)		11月5日(木)~7日(土)	SD		Y-008	p.48
ファシリテーション力養成道場		2月9日(火)~10日(水)	プレFD		Y-009	p.56
TA講習		9月30日(水)	プレFD		Y-010	p.57
TA講習		3月30日(水)	プレFD		Y-011	p.57

# テーマ別プログラム一覧

プログラム名 (FDプログラム)	レベル・フェーズ			開催場所	ページ
	マイクロ	ミドル	マクロ		
<b>授 業 の 基 本</b>					
授業設計ワークショップ	I II			徳島大学	p.18
新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」	I II			香川大学	p.20
大人数講義を魅力的にするテクニック	I II			香川大学	p.22
学生の学びを促すシラバスの書き方	I II			香川大学	p.23
基礎から学ぶ学習評価法	I II			香川大学	p.23
「アカデミック・スキル」をどう教えるか	I II			香川大学	p.24
「日本語技法」をどう教えるか①	I II			香川大学	p.24
「日本語技法」をどう教えるか②	I II			香川大学	p.25
学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計－課題分析図の活用－ <春期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.38
学生を眠らせない講義法のコツ <春期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.39
授業デザインワークショップ(第24回)	I II			愛媛大学	p.27
学習評価の基本 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.29
ルーブリック評価入門－ブレない・速い・楽チン成績評価のススメ－ <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.40
講義のための話し方入門 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.41
授業デザインワークショップ(第25回)	I II			愛媛大学	p.27
学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン(ID)入門－ARCS動機づけモデルの活用－ <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.41
大人数講義法の基本 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.42
学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法	I II			愛媛大学	p.45
学生の学びを支援する授業準備ワークショップ	I II			高知大学	p.32
授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと－質問が出る教室づくり－ <秋期FDセミナー>	I II			高知大学	p.33
学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方 <春期FDセミナー>	I II			高知大学	p.34
授業効果を高めるために初回の授業ですべきこと－受講生のやる気スイッチをONにする－ <春期FDセミナー>	I II			高知大学	p.35
<b>参 加 型 学 習</b>					
始めよう！アクティブ・ラーニング－協同学習・話し合いの技法編－	I II			香川大学	p.21
始めよう！アクティブ・ラーニング－協同学習・教え合いの技法編－	I II			香川大学	p.21
始めよう！アクティブ・ラーニング－協同学習・問題解決の技法編－	I II			香川大学	p.22
効果的なグループワークの進め方 <春期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.26
アクティブ・ラーニング入門セミナー	I II			愛媛大学	p.44
講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン－考え方と進め方－ <秋期FDセミナー>	I II			高知大学	p.33
初年次科目のためのグループワークの技法 <春期FDセミナー>	I II			高知大学	p.34
能動的学習支援者必須！グループワークのためのファシリテーション入門 <春期FDセミナー>	I II			高知大学	p.35
<b>I C T</b>					
クリッカーで教育・研究が変わる！	I II			香川大学	p.38
効果的なeラーニング活用方法(超入門編) <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.29
パワーポイントの基本的な使い方 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.42
eラーニング活用(入門編)－学習支援システムMoodleを活用してきめ細やかな学習支援を実現しよう－ <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.43
動画教材作成法 <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.44

プログラム名 (FDプログラム)	レベル・フェーズ			開催場所	ページ
	マイクロ	ミドル	マクロ		
<b>多様な学生への支援</b>					
英語で授業をしたい教員のためのワークショップ <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.30
<b>総合プログラム</b>					
大学マネジメントセミナー(第1回)	I II III IV	I II III IV	I II	徳島大学	p.61
大学教育カンファレンス in 徳島	I II III IV	I II III IV	I II	徳島大学	p.60
大学マネジメントセミナー(第2回)	I II III IV	I II III IV	I II	愛媛大学	p.61
SPODフォーラム2015	I II III IV	I II III IV	I II	愛媛大学	p.63
愛媛大学教育改革シンポジウム	I II III IV	I II III IV	I II	愛媛大学	p.62
<b>プレFD</b>					
ファシリテーション力養成道場	I II			高知大学	p.56
TA講習	I			高知大学	p.57
TA講習	I			高知大学	p.57
<b>ポートフォリオ</b>					
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	II III			徳島大学	p.19
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ	II III			愛媛大学	p.28
アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ	II III			愛媛大学	p.28
ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ<高専対象>	II III			愛媛大学	p.31
<b>マネジメント</b>					
会議マネジメント <春期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.25
プロジェクトマネジメント <夏期FD・SDスキルアップ講座>	I II			愛媛大学	p.40
<b>職場における多様性と健康</b>					
管理監督者のためのメンタルヘルス研修会	I II			愛媛大学	p.39
高等教育機関における安全衛生	I II			愛媛大学	p.43

プログラム名 (SDプログラム)	開催場所	ページ
<b>ビジネススキル</b>		
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)第1回【新任職員研修】	香川大学	p.50
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)第2回	愛媛大学	p.51
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルII)	愛媛大学	p.52
大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(共通科目)	愛媛大学	p.53
<b>リーダーシップ・組織開発</b>		
次世代リーダー養成ゼミナール(第1回)	徳島大学	p.48
次世代リーダー養成ゼミナール(第2回)	愛媛大学	p.48
次世代リーダー養成ゼミナール(第3回)	高知大学	p.48
次世代リーダー養成ゼミナール(第4回)	愛媛大学	p.48
職員のための講師養成講座(第1回)「総論」	愛媛大学	p.54
職員のための講師養成講座(第2回)「マイクロティーチング」	愛媛大学	p.54

# 平成27年度SPOD加盟校内講師派遣プログラム一覧

大学等名	区分	プログラム名
<b>徳島</b>		
徳島大学	SD	インストラクショナル・デザイン (ID / 教育設計) を活用した企画・立案マネジメント
四国大学・四国大学短期大学部	FD	学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン (ID) 入門～ARCS動機づけモデルの活用～
徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部	FD	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り
徳島工業短期大学	FD	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り
阿南工業高等専門学校	FD	効果的なeラーニングの活用方法
<b>香川</b>		
香川大学	FD・SD	コーディネート力養成講座
香川県立保健医療大学	FD・SD	事例から考えるハラスメント
高松大学・高松短期大学	FD	学生が輝くFDの実践事例
香川短期大学	FD・SD	事例から考えるハラスメント
<b>愛媛</b>		
愛媛大学	FD・SD	学生の自立を促す学生支援の実践とコツ
愛媛県立医療技術大学	FD	ティーチング・ポートフォリオ入門～教育実践のリフレクション～
聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部	FD・SD	教職員のためのPowerPoint ～30分でマスターするPPT, プレゼン資料からポスター作成まで～
松山大学・松山短期大学	FD	学生の学びを促すシラバスの書き方
松山東雲女子大学・松山東雲短期大学	FD・SD	事例から考えるハラスメント
今治明德短期大学	FD・SD	教職員のためのプレゼンテーション～説得力のある話し方, 組み立て方～
環太平洋大学短期大学部	FD	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計～課題分析図の活用～
新居浜工業高等専門学校	FD	今すぐ役立つ授業Tips アクティブ・ラーニングのスタート
弓削商船高等専門学校	FD	事例から見た, 学生・保護者から信頼される高専教育
<b>高知</b>		
高知大学	FD・SD	プロジェクト・マネジメント入門
高知県立大学・高知短期大学・高知工科大学	FD	学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?
高知学園短期大学	FD	学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計～課題分析図の活用～
高知工業高等専門学校	FD	受講生が楽しく集中して参加する授業の雰囲気作り

[本件に関するお問い合わせ先]

SPOD事務局 (愛媛大学教育企画課)

TEL : 089-927-9154 E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp



# FDプログラム

(教員対象)

プログラム番号 T-001

## 授業設計ワークショップ

FD

## \*主な対象

新任教員、授業方法や授業設計を学びたい教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

1. FD活動の理念、活動計画を理解することができる
2. 授業を計画し、実施し、評価する方法を体得することができる
3. 授業研究の仕方を理解し、実践することができる
4. FD参加者同士の仲間づくりができる

## \*講師

川野卓二、宮田政徳、吉田博  
他  
(徳島大学 総合教育センター)

## \*日時

6月20日(土)~21日(日)

## \*場所

徳島大学 大学開放実践センター  
2階(6号館 201)

## \*受講定員

30名

## \*主催

徳島大学 FD委員会

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

徳島大学 総合教育センター  
吉田 博  
〒770-8502 徳島市南常三島町1-1  
TEL 088-656-9865  
E-mail: t-spod@cue.  
tokushima-u.ac.jp

## \*内容\*

## 1日目

1. オリエンテーション  
研修のねらいと意義  
進め方とスタッフ紹介
2. アイスブレイク  
参加者自己紹介・交流
3. 講義&ワーク さまざまな授業方法  
学生の主体的な学習を促進する授業方法
4. 講義Ⅰ よりよい授業実施のために  
授業設計と評価  
シラバス・授業計画書の作成方法  
模擬授業の計画と準備
5. ワークⅠ 模擬授業・授業検討会  
グループごとに分かれて実施



## 2日目

6. 模擬授業実施（全体共有）  
グループ代表による模擬授業
7. プログラムのまとめ  
活動のふりかえり  
修了証授与  
アンケート



(備考)

※二日間続けての参加が必須です。  
一日だけの参加はできません。

## ▶参考資料

- ・佐藤浩章監訳（2014）「大学教員のためのルーブリック評価入門」, 玉川大学出版部.
- ・佐藤浩章編（2010）「大学教員のための授業方法とデザイン」, 玉川大学出版部.
- ・ノエル・エントウィルス（2010）「学生の理解を重視する大学授業」, 玉川大学出版部.
- ・金成隆一（2013）「ルポMOOC革命」, 岩波書店.

## ▶受講者の声（2014年度 アンケートから得られた意見）

- ・これまでに実施していた授業の内容、実施方法等々見直す機会になりました。内省を続けていかなければいけないと思いました。
- ・自分の授業でも改善できる工夫をいくつか得ることができた。また今後授業の内容、手法を改善していくための課題を得ることが出来、「大きな宿題」を頂いたと認識しています。
- ・アクティブラーニングのための各種技術を知った事。他分野の先生方からの見解を得られた事が良かった。
- ・他学科の先生とお話し情報交換できて良かった。

## ▶準備物等

事前に普通の授業（あるいは今後担当予定、担当したい授業）のシラバス、ある日の授業計画（講義1回分）の準備が必要になります。また、参加者全員が模擬授業を行いますので、ご自身が選ばれた担当授業の中からワンシーンを選び、スライド等をご準備頂くことになります。

プログラム番号 T-002

## ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ **FD**

### \*主な対象\*

教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

川野卓二, 宮田政徳, 吉田博 (総合教育センター)

### \*日時\*

3月中(2日間)

### \*場所\*

徳島大学 大学開放実践センター  
2階(6号館 201)

### \*受講定員\*

10名

### \*主催\*

徳島大学 FD委員会

### \*大切\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

徳島大学 総合教育センター

E-mail: t-spod@cue.

tokushima-u.ac.jp

### \*目標\*

- ティーチング・ポートフォリオとは何かを理解する。
- ティーチング・ポートフォリオの必要性・有効性について知る。
- ティーチング・ポートフォリオ作成の要点と手順を理解する。
- ティーチング・ポートフォリオを作成する。

### ▶参考資料

TP完成サンプル

### \*内容\*

2日間を通しての参加となります。メンターによるメンタリングを行いながら作成します。

#### <1日目>

1. オリエンテーション
2. 昼食会
3. 意見交換
4. メンタリング
5. TP作成作業  
(夜) 情報交換会 (任意)

#### <2日目>

1. TP作成作業
2. メンタリング
3. 昼食会・意見交換
4. TP作成作業
5. TP披露・修了式

プログラム番号 K-001

# 新任教員研修会「よりよい授業のためのFDワークショップ」

FD

## \*主な対象

新規採用された教員（大学での授業担当経験3年以上を除く）参加を希望する教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

授業の構想・設計・実施・評価に関わる一連のプロセスをグループワーク形式で体験し、授業実施のために必要な能力を身につける

## \*講師

香川大学大学教育基盤センター教員

## \*日時

9月18日(金)～19日(土)

## \*場所

休暇村讃岐五色台（香川県坂出市）

## \*受講定員

30名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

8月20日(木)まで、先着順

## \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*内容\*

### 1日目

1. オリエンテーション
2. アイスブレイク
3. グループワークⅠ「学生の考える良い授業」
4. 講義Ⅰ「シラバスの書き方」  
目標設定の仕方  
授業計画の立て方
5. グループワークⅡ「全学共通科目の開発Ⅰ」  
目標設定  
授業計画  
シラバス作成
6. 講義Ⅱ「様々な授業方法」  
講義形式のメリット・デメリット  
双方向型授業のコツ  
マイクロティーチング
7. 講義Ⅲ「よりよい成績評価の仕方」  
成績評価の目的  
評価の方法と評価対象
8. グループワークⅢ「全学共通科目の開発Ⅱ」  
授業計画と評価計画
9. グループ発表Ⅰ「中間発表」
10. グループワークⅣ「全学共通科目の開発Ⅲ」  
授業計画案作成



### 2日目

11. グループワークⅤ「全学共通科目の開発Ⅳ」  
役割決定  
授業の練習
12. グループ発表Ⅱ「ミニ授業」

（※宿泊研修です。1日だけの参加はできません。）

## ▶参考資料

『愛媛大学FDハンドブック もっと!! 授業を良くする』第1巻改訂第2版  
『愛媛大学FDハンドブック もっと!! 授業を良くする』第2巻改訂第2版

## ▶受講者の声

- シラバスの書き方について、ポイントをおさえた説明がなされていたので、大変分かりやすく、これから活用出来るものになりました。  
また、アイスブレイキングについては、これまで自分の授業でも取り入れていたのですが、改めて学生の立場でやってみることで、やはり効果の大きいものだとなんて再認識出来ました。  
クリッカー、コミュニケーションカードもいいツールなので、ぜひ取り入れたいと思います。  
今回のワークショップは、講師の先生方の熱意と事務局の方々の素晴らしい企画・運営があって、恵まれた環境の中研修できたので、やはり教員として授業の準備をしっかりと、学生に恵まれた環境で意欲的に学習に取り組ませたいと感じました。
- 内容もとても充実しておりました。また、香川大学の主催で、参加者も香川大学の先生方が多い中で、他大学の教員でも居心地よく過ごすことが出来たことありがとうございました。

## ▶準備物

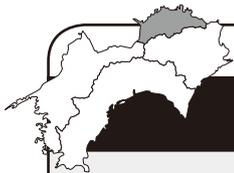
事前に簡単なアンケートにお答えいただきます。その他宿泊に関する準備物は参加者希望者にメールにて連絡します

プログラム番号 K-002 **New!!****始めよう!アクティブ・ラーニングー協同学習・話し合いの技法編ー** **FD**

<b>*主な対象</b> 教員	<b>*目標*</b> 1. アクティブ・ラーニングとはどのようなものか、説明することができる。 2. 話し合いの技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。 3. 自らの授業に話し合いの技法を導入することができる。
<b>*対象校</b> SPOD全加盟校	
<b>*目標</b> 右記参照	
<b>*講師</b> 葛城浩一(香川大学・大学教育基盤センター)	<b>*内容*</b> 0. はじめに 1. アクティブ・ラーニングとは 2. アクティブ・ラーニングが求められる背景 3. 協同学習・話し合いの技法の紹介 3-1. シンク・ペア・シェア 3-2. ラウンド・ロビン 3-3. パズ・グループ 3-4. トーキング・チップ 3-5. スリー・ステップ・インタビュー 3-6. クリティカル・ディベート 4. おわりに
<b>*日時</b> 9月28日(月)13:00~14:30	
<b>*場所</b> 生涯学習教育研究センター第1講義室(研究交流棟6階)	
<b>*受講定員</b> 50名	
<b>*主催</b> 香川大学大学教育開発センター	
<b>*メ切</b> 開講日2週間前、先着順	
<b>*申込先・問合せ先</b> 香川大学教育・学生支援室修学支援グループ E-mail : gakusenm4@jim. ao.kagawa-u.ac.jp	

プログラム番号 K-003 **New!!****始めよう!アクティブ・ラーニングー協同学習・教え合いの技法編ー** **FD**

<b>*主な対象</b> 教員	<b>*目標*</b> ・アクティブ・ラーニングとはどのようなものか、説明することができる。 ・教えあいの技法を3つ以上挙げて、その手順を紹介することができる。 ・自らの授業に教えあいの技法を導入することができる。
<b>*対象校</b> SPOD全加盟校	
<b>*目標</b> 右記参照	
<b>*講師</b> 佐藤慶太(香川大学・大学教育基盤センター)	<b>*内容*</b> 1. アクティブ・ラーニングについて 2. 教えあいの技法の紹介 2-1. ノート・テイキング・ペア 2-2. ラーニング・セル 2-3. フィッシュボウル 2-4. ロールプレイ 2-5. ジグソー学習 2-6. テスト・テイキング・チーム 3. まとめ
<b>*日時</b> 9月28日(月)14:40~16:10	
<b>*場所</b> 生涯学習教育研究センター第1講義室(研究交流棟6階)	
<b>*受講定員</b> 50名	
<b>*主催</b> 香川大学大学教育基盤センター	
<b>*メ切</b> 開講日2週間前、先着順	
<b>*申込先・問合せ先</b> 香川大学教育・学生支援室修学支援グループ E-mail : gakusenm4@jim. ao.kagawa-u.ac.jp	

プログラム番号 K-004 **New!!**

## 始めよう!アクティブ・ラーニングー協同学習・問題解決の技法編ー **FD**

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

三宅岳史（香川大学・教育学部）

## \*日時

9月29日(火)13:00~14:30

## \*場所

生涯学習教育研究センター第1  
講義室（研究交流棟6階）

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前、先着順

## \*申込先・問合せ

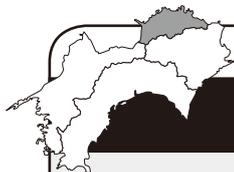
香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 問題解決の技法を3つ以上挙げて、その手順を説明することができる。
2. 自らの授業に問題解決の技法を導入することができる。

## \*内容\*

0. はじめに
1. アクティブ・ラーニングと問題解決
2. 問題解決の技法の紹介
  - 2-1. アナリティック・チーム
  - 2-2. センド・ア・プロブレム
  - 2-3. ケース・スタディ
  - 2-4. グループ・インベスティゲーション
  - 2-5. ネゴシエーション・ゲーム
3. 問題解決vs.オープンエンド
  - 3-1. こども哲学
  - 3-2. 哲学カフェ
4. おわりに



プログラム番号 K-005

## 大人数講義を魅力的にするテクニック **FD**

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

葛城浩一（香川大学・大学教育  
基盤センター）

## \*日時

9月29日(火)14:40~16:10

## \*場所

生涯学習教育研究センター第1  
講義室（研究交流棟6階）

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前、先着順

## \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

自分の授業で応用可能なコツをひとつ以上持ち帰る。

## \*内容\*

1. 大規模クラスの特異性
2. 構成をしっかり考える
3. 明確に話す
4. 匿名空間にしない
5. ペア/グループ・ワークを挿入する
6. 発問で刺激を
7. 資料配布・回収やテストを効率的に行う
8. 学習を阻害する行為を管理する
9. まとめ

プログラム番号 K-006

## 学生の学びを促すシラバスの書き方

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

葛城浩一 (香川大学・大学教育  
基盤センター)

## \*日時

12月25日(金) 13:00~14:30

## \*場所

生涯学習教育研究センター第1  
講義室 (研究交流棟6階)

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・シラバスの定義を説明することができる。
- ・適切な目的を書くことができる。
- ・適切な目標を書くことができる。
- ・効果的な学習を促すスケジュールをデザインできる。
- ・適切な評価方法を書くことができる。

## \*内容\*

1. シラバスとは何か
2. シラバスの項目例
3. 授業科目名の書き方
4. 目的の書き方
5. 目標の書き方
6. 評価に関わる情報の書き方
7. 授業計画の書き方
8. 教材に関わる情報の書き方
9. オフィスアワーの書き方
10. 受講のルールの書き方

## ▶準備物

ご自分の授業のシラバスをご持参ください。

プログラム番号 K-007

## 基礎から学ぶ学習評価法

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

佐藤慶太 (香川大学・大学教育  
基盤センター)

## \*日時

12月25日(金) 14:40~16:10

## \*場所

生涯学習教育研究センター第1  
講義室 (研究交流棟6階)

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 成績評価の学習支援機能について説明することができる。
2. 学習目標に応じた評価方法を選択することができる。
3. 代表的な評価方法の特徴について説明することができる。

## \*内容\*

1. 成績評価の目的
2. 学習支援のための成績評価
3. 成績評価の基本
4. さまざまな評価方法
5. よりよい成績評価のための工夫
6. まとめ

プログラム番号 K-008 **New!!****「アカデミック・スキル」をどう教えるか**

FD

**\*主な対象\***

教員

**\*対象校\***

SPOD全加盟校

**\*目標\***

右記参照

**\*講師\***

佐藤慶太(香川大学・大学教育基盤センター)

葛城浩一(香川大学・大学教育基盤センター)

**\*日時\***

3月3日(木)13:00~14:30

**\*場所\***生涯学習教育研究センター第1  
講義室(研究交流棟6階)**\*受講定員\***

50名

**\*主催\***

香川大学大学教育基盤センター

**\*メ切\***

開講日2週間前, 先着順

**\*申込先・問合せ\***

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

E-mail : gakusenm4@jim.

ao.kagawa-u.ac.jp

**\*目標\***

1. 「情報整理の方法」を教える際のポイントを理解することができる。
2. 「レポートの書き方」を教える際のポイントを理解することができる。
3. 「プレゼンテーションの方法」を教える際のポイントを理解することができる。

**\*内容\***

1. はじめに
2. 「情報整理の方法」の教え方
3. 「レポートの書き方」の教え方
4. 「プレゼンテーションの方法」の教え方
5. 質疑応答

プログラム番号 K-009

**「日本語技法」をどう教えるか①**

FD

**\*主な対象\***

教員

**\*対象校\***

SPOD全加盟校

**\*目標\***

右記参照

**\*講師\***高水 徹(香川大学・インター  
ナショナルオフィス)**\*日時\***

3月7日(月)13:00~14:30

**\*場所\***生涯学習教育研究センター第1  
講義室(研究交流棟6階)**\*受講定員\***

50名

**\*主催\***

香川大学大学教育基盤センター

**\*メ切\***

開講日2週間前, 先着順

**\*申込先・問合せ\***

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ

E-mail : gakusenm4@jim.

ao.kagawa-u.ac.jp

**\*目標\***

1. 大人としてのマナーを守り, 情報として過不足のない用件のメールを書くことができる。
2. 手順を言語化し, 聞き手にわかりやすく伝えることができる。
3. 文章を整理し, 理解しやすく, 誤りのない状態に上げることができる。

**\*内容\***

- 技法1: 教職員へのメールの書き方  
 技法2: 書き言葉による手順の説明  
 技法3: 推敲の技法
- ・これらの技法がなぜ必要か。
  - ・これらの技法のポイントは何か。

**▶参考資料**

香川大学大学教育基盤センター編『大学入門ゼミハンドブック』  
 (参加者には配布いたします。)

**▶受講者の声**

- ・メール文章の問題点を具体的に指摘するところが参考になりました。
- ・日本語技法は必要です。
- ・日本語技法はバージョンアップしたので受講しました。前よりコンテンツがモジュール化されて使いやすくなったと思います。

プログラム番号 K-010

## 「日本語技法」をどう教えるか②

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

高水 徹 (香川大学・インターナショナルオフィス)

## \*日時

3月7日(月)14:40~16:10

## \*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室(研究交流棟6階)

## \*受講定員

50名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日2週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail: gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

(①からの続き)

- 適切な表現を用いて, 2つの物事を比較・対照し, 文章で表現できる。
- 文章のポイントを箇条書きでまとめることができる。
- 文章の内容を, 必要な情報を損なわずに要約することができる。

## \*内容\*

(①からの続き)

技法4: 比較・対照の技法

技法5: 箇条書きの技法

技法6: 要約の技法

- これらの技法がなぜ必要か。
- これらの技法のポイントは何か。

## ▶参考資料

香川大学大学教育基盤センター編『大学入門ゼミハンドブック』

(参加者には配布いたします。)

プログラム番号 I-001

## 会議マネジメント〈春期FD・SDスキルアップ講座〉

FD

## \*主な対象

教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

丸山智子(愛媛大学教育企画室)

## \*日時

4月6日(月)10:00~12:00

## \*場所

愛大ミュージアムアクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

40名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

## \*メ切

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

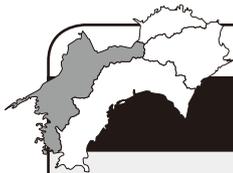
- 会議のマネジメントプロセスについて説明できる
- 会議を進める上で準備すべき事を理解できる
- 会議を効果的・効率的に運営するために必要な手法を説明することができる
- 会議のまとめ, 及び会議後のフォローの注意すべき点を列挙できる

## \*内容\*

会議(ミーティング)は「意見の異なるもの同士が, 議論の末に高次の合意点を見つけるもの」であることが望まれます。そのような会議を実現するため, ファシリテーションの重要性を理解し, マネジメントのプロセス, 具体的な手法について学びます。

## ▶受講者の声

- 会議ファシリテータの役割は大きく, 議論の行方, 成否を握っていることがよく分かりました。ディスカッションを行う授業に応用できると思います。
- 私は会議をマネジメントすることはほとんどない立場ですが, 今回の研修内容は「1人の参加者」として会議に出る人にも十分に有意義な内容だったと思います。
- 「論点がズれる理由」は目からウロコでした。
- 会議の中身について分析したことがなかったので, 初めて自覚することが多く, 今までうまくいかなかった原因によりやく気づけた。
- 少しうまく進めるための道が見えてきた気がします。



プログラム番号 I-002

## 効果的なグループワークの進め方 (春期 FD・SD スキルアップ講座)

遠隔

FD

### \*主な対象\*

授業でのグループワークやゼミでのディスカッションをより活性化させたい教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

小林直人(愛媛大学教育企画室)

### \*日時\*

4月7日(火) 13:00~15:00

### \*場所\*

愛大ミューズ1階アクティブ・ラーニングスペース2

### \*受講定員\*

40名

### \*主催\*

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

### \*大切\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

1. 学生がいきいきとグループワークに参加できる仕組みについて説明することができる。
2. 現状よりも活発なグループワークをしかけることができるようになる。
3. グループワークを導入することのメリットとデメリット、導入時に注意すべき点を列挙できる。

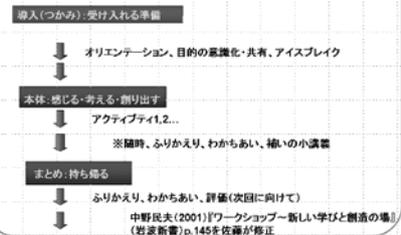
### \*内容\*

1. アイスブレイク
  - ・自己紹介
2. グループワークを体験する
3. 成功するグループワークのカギ
4. グループワークの進め方
  - ・グループワークの流れ
  - ・ファシリテーターの基本スキル
5. グループワークの必須アイテム
6. 振り返りと質疑応答

### ▶受講者の声

- 私にとっては目からうろこでした。グループワークだけでなく日頃の授業にも活かせる内容だったと思います。
- グループワークの具体的な進め方に関して理解することが出来た。

### 4. グループワークの進めかた





プログラム番号 I-003, I-007

# 授業デザインワークショップ

FD

FD

## \*主な対象\*

- ・愛媛大学教員のうち、下記のいずれかに該当する者
- ①新規採用された教員（大学での授業担当経験5年以上を除く）
- ②新たに大学の授業を担当した教員
- ③昨年度対象者で都合により欠席した該当教員
- ④参加を希望する教職員
  - ・SPOD加盟校教職員のうち、参加を希望する者

## \*対象校\*

SPOD全加盟校

## \*目標\*

1. 適切な目的・目標設定ができるようになる。
2. わかりやすいシラバスを書けるようになる。
3. 様々な授業方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
4. 様々な成績評価方法を知り、目的・目標にあった方法を選択できるようになる。
5. 学習者の学習を促す要因を説明できる。
6. グループ学習の手法を、自らの授業で導入するためのヒントを得る。

## \*講師\*

小林直人, 村田晋也, 清水栄子, 丸山智子, 加地真弥, 中井俊樹 (愛媛大学教育企画室), 仲道雅輝 (愛媛大学総合メディアセンター兼教育企画室) 他

## \*日時\*

7月4日(土)~5日(日)(第24回)  
9月1日(火)~3日(木)(第25回)

## \*場所\*

久万高原ふるさと旅行村  
(7月, 第24回)  
愛媛大学愛大ミュージックアクティブ・ラーニングスペース2  
(9月, 第25回)

## \*受講定員\*

7月 20名  
9月 30名

## \*主催\*

第24回：四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)  
第25回：愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

## \*メモ\*

要問い合わせ

## \*申込先・問合わせ\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*内容\* (二日間ワークショップ場合)

### 1日目

1. **オリエンテーション**
  - ・研修の目的・目標の確認
  - ・スタッフの紹介とお願い
2. **アイスブレイキング**
  - ・自己紹介とグループワーク
  - ・アイスブレイキングの意義
3. **講義 I**
  - 「シラバスの書き方」
  - ・目的・目標の立て方
  - ・授業計画の立て方
4. **グループワーク I**
  - 「共通教育科目の開発 I」
  - ・目的・目標設定
  - ・コースデザイン
5. **講義 II**
  - 「何が学生の学びを促進するのか？」
6. **講義 III**
  - 「様々な授業方法」
  - ・講義形式のメリット・デメリット
  - ・講義形式以外の授業方法
7. **講義 IV**
  - 「よりよい成績評価の仕方」
  - ・成績評価の目的
  - ・評価方法と評価対象
8. **グループワーク II**
  - 「共通教育科目の開発 II」
  - ・コースデザイン
  - ・学習評価
9. **中間発表**
10. **グループワーク III, IV**
  - 「共通教育科目の開発 III, IV」
  - ・授業計画案作成

### 2日目

11. **グループワーク V**
  - 「共通教育科目の開発 IV」
  - ・ミニ授業練習
12. **ミニ授業**
  - 「ミニ授業 (導入の10分)」
  - ・授業紹介
  - ・ミニ授業
  - ・討議・検討
13. **振り返り**



※第24回は1泊2日の宿泊研修。

※第25回は3日間宿泊なしの研修。第24回と同じ内容となっております。

## ▶参考資料

『愛媛大学FDハンドブック もっと!!授業を良くする』第1巻 (オリジナルテキスト)  
『愛媛大学FDハンドブック もっと!!授業を良くする』第2巻 (オリジナルテキスト)  
佐藤浩章 編『大学教員のための授業手法とデザイン』(玉川大学出版部)

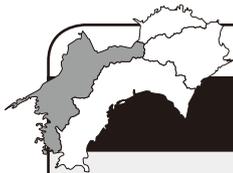
## ▶受講者の声

「当初はあまり乗り気ではなかったが、スタッフの教育に対する姿勢と知識に驚かされてとても有意義な時間が過ごせました。ありがとうございました。」

「専門を異にする他学部の教員と専門外のシラバスを作るという作業は、様々な考え方や物の見方に触れることができ、刺激に満ちたものだった。」

「キャンパスを離れた自然の豊かな高原で、日常の煩雑な業務で疲労した心身をリフレッシュすることができました。タイトスケジュールにより内容の充実した研修が展開されたことにより、参加したことに一層大きな意義を感じました。数多くのグループワークを通して、学生の立場から改めて授業運営を見つめ直すことができました。」

「研修を通じて、授業の意味や教員の役割を改めて考えることができ、学生の視点やレディネスについて意識するようになった点が良かったと思います。独り善がりな授業にしたいと強く思うようになりました。今回学んだことは、断続的に実践していきたいと思っています。私は授業経験がなく不安を感じながら参加しましたが、分かりやすい講義内容だし、グループワークにも参加しやすく、構えなくても参加できる研修でした。このような有意義なワークショップにもっと多くの教員が参加することを望みます。」



プログラム番号 I-004

## ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ

FD

### \*主な対象\*

教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

小林直人、清水栄子（愛媛大学教育企画室）ほか

### \*日時\*

7月11日（土）～12日（日）  
（2日間）

### \*場所\*

愛媛大学愛大ミュージズ

### \*受講定員\*

20名

### \*主催\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

### \*メッセ\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

- ティーチング・ポートフォリオ（TP）とは何かを理解する。
- ティーチング・ポートフォリオの必要性・有効性について知る。
- ティーチング・ポートフォリオ作成の要点と手順を理解する。
- ティーチング・ポートフォリオを作成する。

### ▶参考資料

TP完成サンプル

### \*内容\*

2日間を通しての参加となります。  
メンターによるメンタリングを行いながら作成します。

#### <1日目>

1. オリエンテーション
2. 昼食会
3. 意見交換
4. メンタリング
5. TP作成作業  
（夜）情報交換会（任意）

#### <2日目>

1. TP作成作業
2. メンタリング
3. 昼食会・意見交換
4. TP作成作業
5. TP披露・修了式



プログラム番号 I-005

## アカデミック・ポートフォリオ作成ワークショップ

FD

### \*主な対象\*

ティーチング・ポートフォリオを作成済みの教員

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

小林直人、清水栄子（愛媛大学教育企画室）ほか

### \*日時\*

7月11日（土）～12日（日）  
（2日間）

### \*場所\*

愛媛大学愛大ミュージズ

### \*受講定員\*

5名

### \*主催\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室（教職員能力開発拠点）

### \*メッセ\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

- アカデミック・ポートフォリオ（AP）とは何かを理解する。
- アカデミック・ポートフォリオの必要性・有効性について知る。
- アカデミック・ポートフォリオ作成の要点と手順を理解する。
- アカデミック・ポートフォリオを作成する。

### \*内容\*

2日間を通しての参加となります。  
メンターによるメンタリングを行いながら作成します。

#### <1日目>

1. オリエンテーション
2. 昼食会
3. 意見交換
4. メンタリング
5. AP作成作業

#### <2日目>

1. AP作成作業
2. メンタリング
3. 昼食会・意見交換
4. AP作成作業
5. AP披露・修了式  
（夜）情報交換会（任意）

### ▶参考資料 AP完成サンプル

### ▶準備物 ご自身のティーチング・ポートフォリオ

プログラム番号 I-006

## 学習評価の基本〈夏期FD・SDスキルアップ講座〉

FD

## \*主な対象

学習評価に関わる教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

1. 学習評価の原則を説明することができる。
2. 形成的評価と総括的評価の違いと重要性を説明できる。
3. 多様な学習評価方法を知り、自らの授業で活用できる。

## \*講師

清水栄子(愛媛大学教育企画室)

## \*日時

8月18日(火)13:00~15:00

## \*場所

愛大ミュージアム階アクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

40名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

## \*メー

開講日2週間前、先着順

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*内容\*

1. 学習評価の基礎知識~目的・原則・方法~
2. よいテストのための条件
3. 様々な学習評価
  - ・ルーブリック評価
  - ・学生の自己評価・相互評価
4. Q&A

## ▶参考資料

項目	レベルA	レベルB	レベルC
準備	すべての適切な材料が揃っており、レポートに配属されている。	すべての材料が出されているが、すべてが配属されているわけではない。もしくは不揃いでいて途中で離れられている。	必要な材料がなく、レポートへの配属もない。大きな手塚があり、失物がある。
手順	手順は経験とともによく考えられており、適切である。	手順はもつと手順よく実行することが可能であるが、不適切である。	不適切な手順である。
安全性	安全にばかりなく実施できる。	たまたま安全性は確保されたが、リスクをばいんだ方法である。	危険な作業があった。
説明			
...			

## ▶受講者の声

○ヒントに満ちた内容でした。ルーブリックの評価への適用も興味深いだけでなく、学生の自主学習を促す工夫の実例なども参考にして、すぐにでも使えそうです。○具体例を多く挙げていただいたので、理解するだけでなく自分のフィールドを思い浮かべることが出来ました。○授業プログラム・計画・デザインの必要性を感じ、今後計画表の中に評価基準・方法を入れていきます。

## ▶準備物について

可能であれば、ご自身の授業シラバスを持参ください

プログラム番号 I-008

## 効果的なeラーニングの活用方法(超入門編)〈夏期FD・SDスキルアップ講座〉

FD

## \*主な対象

eラーニングを授業に取り入れてみたい、eラーニングをどのように活用したら良いかわからないなど、eラーニングに興味をもっている教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

仲道雅輝(愛媛大学総合メディアセンター兼教育企画室)

## \*日時

9月11日(金)13:00~15:00

## \*場所

愛大ミュージアム階アクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

24名程度

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. eラーニングとは何か説明できる。
2. 実践事例からeラーニングを授業に取り入れる際の効果的なポイントが説明できる。
3. eラーニング要素を活用して自身の授業での課題解決に向けた対策を考案することができる。
4. 自身の授業で使えそうなヒントやアイデア等を一つ以上持ち帰ることができる。

## \*内容\*

高等教育機関において、学習効果を上げるための方法としてeラーニングが注目されています。本プログラムでは、「eラーニングを授業に取り入れてみたい」「どのように活用するのが有効なのか知りたい」「自身の授業改善に役立てたい」「どこから始めるとよいかかわからない」「実はeラーニングとは何かがわからない」という方に対して、実際に授業で活用されている様々な事例を

紹介するとともに、ワークショップ形式にて自身の授業で、どう活用できるかを探っていきます。

※研修時にeラーニングソフト(Moodle)の操作等は行いません。

1. eラーニングとは
2. 広義・狭義のeラーニング
3. 実践事例の紹介(動画教材・テスト機能・ディスカッション機能・課題提出機能(振り返り)等)
4. eラーニングを取り入れた授業計画案作成に向けて、グループワークによる検討を行う。

## ▶準備物について

筆記用具、ご自身のシラバスもしくは授業計画等をご持参ください。



プログラム番号 I-009

## 英語で授業をしたい教員のためのワークショップ (夏期FD・SDスキルアップ講座)

FD

### \*主な対象\*

教員 (職員も受講可能)

### \*対象校\*

SPOD全加盟校

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

ルース・バージン (愛媛大学国際教育支援センター) ポグダン・ディビッド (愛媛大学教育学部)

### \*日時\*

9月14日(月)13:00~15:00

### \*場所\*

愛大ミューズ1階アクティブ・ラーニングスペース2

### \*受講定員\*

40名

### \*主催\*

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

### \*大切\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

英語で授業をするときの一般的なガイドラインを説明できる。ロールプレイ形式のワークショップで、英語による授業を経験する。

To learn some general guidelines for teaching in English.

### \*内容\*

1. 創成授業「異文化のまなざし」での事例報告
2. 英語で授業をする際の一般的なガイドラインについて
3. 質疑応答と休憩時間
4. グループワーク
5. まとめと振り返り

1. Report on the Issues in Research classes
2. Go over general guidelines for teaching in English
3. Q&A/short break
4. Use of Moodle forums
5. Time management
6. Group work
7. Summing up

### ▶参加者の声

- 久しぶりにネイティブの英語を生で聴けた。
- グループディスカッションの重要性がよく分かった。
- 体験とレクチャーのバランスが良かった。



プログラム番号 I-010

## ティーチング・ポートフォリオ作成ワークショップ〈高専対象〉

FD

### \*主な対象\*

教員（教育力向上を目指し参加を希望する教員、教育歴5年以上を目安とします）

### \*対象校\*

SPOD加盟校（高専のみ）  
※高専を対象としていますが、SPOD加盟校からの希望者があれば、参加状況により、受け付ける場合がありますので、ご連絡ください。

### \*目標\*

右記参照

### \*講師\*

松本高志（阿南工業高等専門学校）、清水栄子（愛媛大学教育企画室）ほか

### \*日時\*

9月25日(金)～27日(日)

### \*場所\*

愛媛大学愛大ミュージズ

### \*受講定員\*

15名

### \*主催\*

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

### \*大切\*

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ\*

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

ティーチング・ポートフォリオ（以下、「TP」という。）を用いて教員による主体的な教育力向上を目指します。TPは内省によって、教育業績を整理するだけでなく、教員が抱えている教育への情熱を振り返り、その思いを授業改善、さらに教育力向上へ結びつける教員の意識改革（主体性）を重視するものです。

TP作成者（ワークショップ参加者）は次回メンター（助言者）として参加し、他者をメンタリングすることにより更なる教育効果が上がり、TP作成者の増加のみならず、メンター養成によって相乗効果が生まれることが期待されます。

### \*内容\*

プログラムは以下のとおりです。3日間を通しての参加となります。

#### <1日目>

12:00～12:30 オリエンテーション  
12:30～13:30 昼食会・意見交換  
13:30～14:30 第1回個人ミーティング  
14:30～17:00 TP作成作業  
18:30～20:30 情報交換会(任意)

#### <2日目>

9:00～10:00 TP作成作業  
10:00～11:00 第2回個人ミーティング  
11:00～12:00 TP作成作業  
12:00～13:00 昼食会・意見交換  
13:00～17:00 TP作成作業

#### <3日目>

9:00～10:00 TP作成作業  
10:00～11:00 第3回個人ミーティング  
11:00～12:00 TP作成作業  
12:00～13:00 昼食会・意見交換  
13:00～15:00 TP作成作業、プレゼンテーション準備  
15:00～16:30 TP披露・修了式、修了証書の授与

### ▶研修風景



### ▶準備物について

事前に課題（スタートアップシート）を作成・提出していただきます。

### ▶参考資料

『大学教育を変える教育業績記録 ティーチング・ポートフォリオ作成の手引』ピーター・セルディン／著 大学評価・学位授与機構／監訳 栗田佳代子／訳（玉川大学出版）

### ▶受講者の声

- 参加してよかったと思うことは、自分の教育活動をはじめて文書化し、体系的にまとめることができたことです。
- 一人でデスクワークで取り組むのではなく、目的を共有した仲間と同じ空間の中で取り組んだことが、集中力と作業の行き詰まりの解消のヒントを得るにはとてもよかった。

プログラム番号 Y-001

# 学生の学びを支援する授業準備ワークショップ

FD

## \*主な対象\*

大学での授業担当経験5年未満の教員、新たに大学の授業を担当した教員および参加を希望する教員

## \*対象校\*

SPOD全加盟校

## \*目標\*

右記参照

## \*講師\*

塩崎俊彦, 立川明, 俣野秀典 (高知大学 大学教育創造センター)

## \*日時\*

9月1日(火)~2日(水) (2日間)  
9:00~17:00

## \*場所\*

高知大学共通教育棟3号館1階  
310教室

## \*受講定員\*

40名

## \*主催\*

高知大学 大学教育創造センター

## \*メー切\*

開講日2週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ\*

高知大学学務部学務課  
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 適切な授業の目的・目標設定ができるようになる。
2. わかりやすいシラバスを書けるようになる。
3. 学習成果（ラーニング・アウトカムズ）を意識して授業デザインができるようになる。
4. 学生参加型のグループ作業を自らの授業で導入することができるようになる。

## \*内容\*

### 1日目

1. オリエンテーション／アイスブレイク
2. グループワーク「良い授業とは？」
3. ミニレクチャー「目標設定と授業計画, シラバスの書き方」
4. グループワーク「共通教育科目の開発①（目標設定と授業計画）」
5. ミニレクチャー「様々な授業形態, それぞれのメリットとデメリット」
6. ミニレクチャー「様々な成績評価, その目的と方法」
7. グループワーク「共通教育科目の開発②（授業計画と評価の方法・スケジュール）」
8. グループ発表「グループワーク中間報告」
9. グループワーク「共通教育科目の開発③（授業の計画・指導案）」

### 2日目

10. グループワーク「共通教育科目の開発④（最終発表準備）」
11. グループ発表「新科目の紹介とミニ授業」
12. ふりかえり



## ▶参考資料

『大学教員のための授業方法とデザイン』（佐藤浩章編／玉川大学出版部）

『FDハンドブック Tips集 1～6』（高知大学総合教育センター）

『授業をもっと良くできる！ 授業改善アンケート, ピア, レビュー, 授業参観の進め方』（高知大学総合教育センター）

## ▶受講者の声

- これまでは多人数講義が主ということもあり一方的な講義スタイルで行ってきた。今回の研修で多人数でもGW等適応できることが分かったのでぜひ導入したい。
- グループワーク, グループ作業をもっとたくさん恐れずにやってみたいと思った。シラバスも書きなおせると思った。
- 後期からの授業ではグループワークを積極的に取り入れたいです。授業内容についても改善していきたいと思います。
- 初めてグループワークを経験しましたが, メンバーと短時間で親密になることができたので良かったです。グループワークを自分の講義に活かそうと思いました。
- 他の大学の方とグループワークの中で話ができて, 授業の進め方や方法についてヒントを教わり, 各々が抱えている問題点も共有できて良かった。

プログラム番号 Y-002

## 講義に小グループ・ペア学習を取り入れた授業デザイン -考え方と進め方- (秋期FDセミナー)

FD

## \*主な対象

学生の学びを向上させるために、グループ・ペア学習を授業の一部に取り入れたい教員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

俣野秀典（高知大学 大学教育創造センター）

## \*日時

9月3日(木)13:30~15:30

## \*場所

高知大学共通教育棟3号館1階310教室

## \*受講定員

30名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メ切

開講日1週間前、先着順

## \*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課  
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

1. グループでの活動による学習の効果を説明できる。
2. 協同的な学習活動を生産的なものにするための条件（要素）について二つ以上説明できる。
3. 学生を参加させるための技法を目的に応じて選択できる。

## ▶受講者の声

- ・協同学習の定義・効果・技法についてきちんと学ぶことができ、本当によかったと思います。
- ・ジグソー等の具体的手法や、それを取り入れた授業の実例を知ることができ、自分のものに取り入れる際の参考になりました。
- ・系統的な知識を得ることができたので、授業の改善に大変参考になりました。

## \*内容\*

“学びのプロセスに学生自身がどれだけ関わることができたか”が学習成果を左右すると言われています。ここ数年、学生参加型や双方向型授業といった名称の授業が増えてきていることの大きな理由がここにあります。

そこで本プログラムは、授業の活動性を高めるために、講義の一部にグループ学習やペア学習を取り入れてみたいと考えている教員を主な対象として、そのための考え方や方法を参加メンバーと共に学び、理解することを目的として実施されます。

1. アイスブレイクの基本
2. 小グループ・ペア学習／能動的学習の効果
3. 学生を参加させるための要素・技法
4. 授業等への適用例
5. 学習課題の組み立て方
6. 振り返り

プログラム番号 Y-003

## 授業効果を高めるために授業の最初にすべきこと -質問が出る教室づくり- (秋期FDセミナー)

FD\*

## \*主な対象

学生の学ぶ意識を高めたい講義型授業担当教員。講義型授業をアクティブにしたい教員。教員志望の学生。

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

立川明（高知大学 大学教育創造センター）

## \*日時

9月8日(火)13:30~15:30

## \*場所

高知大学共通教育棟3号館1階310教室

## \*受講定員

60名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メ切

開講日1週間前、先着順

## \*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課  
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

各回の授業の最初に何をなすべきか言える。  
授業の最初につかう良い問の条件が3つ言える。  
授業の最初に使う問を作ることができる。

## \*内容\*

受講生は授業の準備をしてきていません。授業を聞く心構えをしてきていません。でも好奇心がないわけではありません。どんな授業をするのか冷たい視線を向けています。そんなアウェイな雰囲気を一瞬で消し去り、思わず授業に参加してしまう手法について紹介します。次のようなワークショップで行います。

- ・グループを作ろう！
- ・アイスブレイキングしよう！
- ・学生参加を促す工夫・まずはじめにすること
  - ・サンデル教授の秘密
  - ・問を作る！
  - ・良い問の条件
  - ・World Caféでブラッシュアップ



プログラム番号 Y-004

## 学生の学びを引き出すためのシラバスの書き方 (春期FDセミナー)

FD

**\*主な対象\***

授業改善をしたい教員

**\*対象校\***

SPOD全加盟校

**\*目標\***

右記参照

**\*講師\***

塩崎俊彦、立川明、俣野秀典 (高知大学 大学教育創造センター)

**\*日時\***

1月20日(水)13:30~16:00

**\*場所\***

高知大学共通教育棟3号館1階310教室 (予定)

**\*受講定員\***

30名

**\*主催\***

高知大学 大学教育創造センター

**\*メー切\***

開講日1週間前、先着順

**\*申込先・問合せ\***高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp**\*目標\***

- ・学習成果(ラーニングアウトカムズ)を意識してシラバスを書くことができる。
- ・時間外学習を意識したシラバスを書くことができる。

**\*内容\***

- ・ミニ講義「なぜ良いシラバスを書く必要があるか？」
- ・このワークショップの目標とプログラム
- ・レクチャーおよびワークショップ
  - ・良い目標の書き方
  - ・目標にリンクした成績評価の書き方
  - ・目標にリンクした授業計画の書き方
  - ・その他の項目の書き方

**▶準備物について**

ご自身のシラバス(印刷したもの)

**▶参考資料**

「Faculty Development Handbook Vol.1 第二版 ~もっと! 授業を良くするために~」愛媛大学教育企画室

プログラム番号 Y-005

## 初年次科目のためのグループワークの技法 (春期FDセミナー)

FD

**\*主な対象\***

課題探求実践セミナー担当教員、グループワーク型授業担当教員

**\*対象校\***

SPOD全加盟校

**\*目標\***

右記参照

**\*講師\***

塩崎俊彦、立川明、俣野秀典 (高知大学 大学教育創造センター)

**\*日時\***

3月24日(木)9:30~12:30

**\*場所\***

高知大学共通教育棟3号館1階310教室

**\*受講定員\***

30名

**\*主催\***

高知大学 大学教育創造センター

**\*メー切\***

開講日1週間前、先着順

**\*申込先・問合せ\***高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp**\*目標\***

- ・グループワーク授業のねらいが説明できる。
- ・知識伝授型、課題探求型授業に適したグループワークの手法を理解する。
- ・グループワークに不可欠な省察とフィードバックの手法を理解する。

**\*内容\***

グループワークを多用することで、学生の諸能力が鍛えられると期待されますが、教員が間違った指導(介入)や評価をしてしまうと台無しになってしまう場合もあります。担当者が授業のねらいを理解し、観察の観点や介入のポイントを知っておく必要があります。PBL型授業を有意義なものにするため、以下の様な内容のワークショップを行います。

- ・ミニ講義 グループワーク型授業のねらい
- ・ワークショップ
  - ① アイスブレイクの手法
  - ② 課題探求型授業の組み立て
  - ③ ふりかえりの手法

模範的にグループワークを行うことで、その運営方法を理解します。

グループワークのためのファシリテーション入門と連続受講を推奨します。

プログラム番号 Y-006

## 能動的学習支援者必須! グループワークのためのファシリテーション入門 (春期FDセミナー) **FD\***

## \*主な対象

グループワークを取り入れている授業担当教員およびTA等として授業の補助を行う学生

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

塩崎俊彦, 立川明, 俣野秀典 (高知大学 大学教育創造センター)

## \*日時

3月24日(木) 13:30~18:00

## \*場所

高知大学共通教育棟3号館1階 310教室

## \*受講定員

30名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メロ

開講日1週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・グループワークを主とする授業担当者にとって必須となる能力: ファシリテーション力を身につける。
- ・グループ活動支援に必要なチームビルディングの方法を知る。
- ・チームビルディングゲームの進め方を知る。
- ・場の構築の重要性を理解する。
- ・フィードバックの重要性を理解する。
- ・ファシリテーションにおける注意点を知る。

## \*内容\*

一方的な講義形式の授業から学生参加型/双方向型授業への展開に対応する形で、授業のファシリテーター(学習支援・促進者)としての教員の役割の重要性が顕著になってきています。

そこで本プログラムは、グループワークを多用した授業において教員が知っておきたい授業ファシリテーションについてのマインドとスキルについて、特にチームビルディングを重点的に取り上げ、実際に体験しながら習得することを目的として実施されます。

- ・オリエンテーション
- ・導入エクササイズ「グループの作り方とアイスブレイク」
- ・グループ演習「体験学習を体験する」～振り返りと解説
- ・ファシリテーターとしての行動・姿勢
- ・全体の振り返り, 分かち合い

- ※グループ演習(チームビルディングゲーム)は、参加者のニーズ・人数に応じて、下記より2~3種類をピックアップの予定。
- ・記者会見・総当たりインタビュー・学習スタイル・コンセンサスを求めて・私の価値観/ライブポジション・パスは待ってこない・グループプロセスの観察



## ▶受講者の声

- ・チームビルディングやチームを深めるための方法が分かった。
- ・他の人の意見を聞くという体験ができ、その重要性に気づいた。
- ・グループワークそのものが楽しかった。ファシリテーターの役割の理解が深まった。
- また、フィリップのケースの課題文は要再考だと思えます。
- ・実際のグループワークを行うことによって、理解しやすかった。

プログラム番号 Y-007 **New!!**

## 授業効果を高めるために初回の授業ですべきこと —受講生のやる気スイッチをONにする— (春期FDセミナー) **FD\***

## \*主な対象

学生のやる気高めたい講義型授業担当教員。講義型授業をアクティブにしたい教員。

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

立川明 (高知大学 大学教育創造センター)

## \*日時

3月25日(金) 13:30~15:30

## \*場所

高知大学共通教育棟3号館1階 310教室

## \*受講定員

60名

## \*主催

高知大学 大学教育創造センター

## \*メロ

開講日1週間前, 先着順

## \*申込先・問合せ

高知大学学務部学務課  
E-mail: y-spod@kochi-u.ac.jp

## \*目標\*

- 初回の授業ですべきことを3つ以上言える。
- 2つの緊張のコントロールが必要なわけを言える。
- 2つの緊張をコントロールすることができる。

## \*内容\*

初回の授業を30分程度のオリエンテーションですませていますか? 最近は履修登録しているのに初回の授業には来ず、2回目から来る学生が増えています。もっと1回目の授業を有意義にしましょう。学生は周りの学生、教員に対して緊張感を持っています。一方、シラバスを良く読んでないので、授業内容や授業の方法を知らずに登録しています。そこで、学生の緊張をほぐし、やる気を刺激して2回目からの授業効果を高めましょう。

- ・グループを作ろう!
- ・アイスブレイキングしよう!
- ・ブレインストーミングしよう!





# FD/SDプログラム

(教職員対象)

プログラム番号 K-011

## クリッカーで教育・研究が変わる!

FD/SD

## \*主な対象

教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

真鍋芳樹 (香川大学・アドミッションセンター)

## \*日時

5月25日(月)

## \*場所

生涯学習教育研究センター第1講義室 (研究交流棟6階)

## \*受講定員

30名

## \*主催

香川大学大学教育基盤センター

## \*メ切

開講日1週間前、先着順

## \*申込先・問合せ先

香川大学教育・学生支援室修学支援グループ  
E-mail : gakusenm4@jim.  
ao.kagawa-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・クリッカー&制御ソフト (TurningPoint) の使用方法を習得し、実際に使用できるようになる。
- ・クリッカーを用いた教育方法ならびに研究方法の展開を考えることができる。

## \*内容\*

1. TurningPointのインストール
2. プレゼンテーション資料作成
  - 2-1.新規にスライドを作成する
  - 2-2.既存のPowerPointスライドを利用する
3. プレゼンテーション事前確認
4. プレゼンテーション実行
5. 集計結果の保存
6. 集計結果の利用

## ▶準備物

TurningPointをインストールしたノートパソコンをご持参ください。

プログラム番号 I-011

New!!

## 学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計—課題分析図の活用—

FD/SD

## \*主な対象

教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

仲道雅輝 (愛媛大学総合情報メディアセンター兼教育企画室)

## \*日時

4月6日(月)13:00~15:00

## \*場所

愛大ミュージックアクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

28名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

## \*メ切

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ先

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

- (1) 学習目標を行動目標として明確に表現できる
- (2) 自身の教授内容の課題分析図が作成できる
- (3) 課題分析の結果をもとに、授業構成の改善案を立てることができる

## \*内容\*

学生の学びやすさと学習意欲を高めるために、いくつかのID (インストラクショナル・デザイン) 理論を用いて授業設計の手法を学びます。学習意欲は、学びやすさによって維持・促進され、動機づけによって高めることができます。学びやすさや意欲を設計するためには、教員が自身の教授内容を明確にし、学生目線で再構築する作業が必要です。その第一段階として、学生に対して「この授業で何ができるようになればよいのか」が具体的に伝わる学習目標を提示します。次に、教員の頭にある既に構成された教授内容を一旦分解します。これを課題分析といい、分解した学習要素をより学びやすく、意欲の向上に効果的な学習順序になるよう再構築します。本プログラムでは、課題分析のワークを通して、これからの授業改善に役立つヒントを持ち帰っていただきます。

## ▶準備物

ご自分の授業のシラバスをご持参ください。

プログラム番号 I-012

## 学生を眠らせない講義法のコツ（春期FD・SDスキルアップ講座）

FD/SD

## \*主な対象

講義を受け持つようになって間もない教員。また、受講を希望される職員の参加も歓迎します。

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

小林直人（愛媛大学教育企画室）

## \*日時

4月7日（火）11:00～12:00

## \*場所

愛大ミュージアムアクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

40名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

## \*メロ

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

- 1 講義中に学生の集中力を維持するための様々な講義スキルを説明できる。
- 2 自分が担当する講義で活用できる講義の“パーツ”を列挙できる。
- 3 自分の講義中に複数の“シーン”を切り替えることができる。

## \*内容\*

大教室でも可能なアクティブ・ラーニング（能動的学習法）の具体的な方法について皆さんと考えます。

（この講習自体が授業のメタファーです。授業の“シーン”が切り替わる様子を体験してください。）

- 1 小テストを体験してみる：「授業の“パーツ”」を列挙する
- 2 学生に質問を投げかける方法を体験してみる：大教室でのコミュニケーション
- 3 「Think, Pair, Share」の手法を体験してみる：小規模のグループワーク
- 4 質疑応答
- 5 アクティブ・ラーニングについて考えてみる：得るものと失うもの
- 6 宿題を出すことについて：授業時間外学習を促すために
- 7 まとめ

## ▶参考資料

「大学教員のための授業方法とデザイン」  
佐藤（編）、玉川大学出版部、2010

## ▶準備物について

自分が担当する授業のシラバス（もしあれば）

プログラム番号 I-013 **New!!**

## 管理監督者のためのメンタルヘルス研修会

FD/SD

## \*主な対象

教員、事務系職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

外部講師

## \*日時

7月上旬

## \*場所

愛媛大学会議室

## \*受講定員

40名

## \*主催

愛媛大学総務部人事課

## \*メロ

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課  
E-mail : jinshoku@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

・管理監督者として、メンタルヘルス不調が疑われる部下の早期発見のポイントと気づいた時の対応法、退職者の職場復帰支援のポイント等を習得する

## \*内容\*

- ・メンタルヘルスの意義と管理監督者の役割
- ・ストレスチェック、メンタルヘルスの基礎知識
- ・不調が見受けられる部下への対応
- ・退職者の職場復帰支援のポイント
- ・事例共有ワーク

## ▶受講者の声

- ・実際の相談事例を踏まえて説明していただき、大変分かりやすかった
- ・明日から職場でさっそく活かすことができる身近な内容だった
- ・ワークを通して具体的にいろいろな人の考えを知ることができた



プログラム番号 I-015

## プロジェクトマネジメント〈夏期FD・SDスキルアップ講座〉

FD/SD

## \*主な対象

教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

丸山智子 (愛媛大学教育企画室)、  
仲道雅輝 (愛媛大学総合メディア  
センター兼愛媛大学教育企画室)

## \*日時

8月18日(火)10:00~12:00

## \*場所

愛大ミュージアム階アクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

40名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発  
ネットワーク (SPOD)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・プロジェクトマネジメントとは何かを説明できる
- ・プロジェクトマネジメントの考え方やプロセスを説明できる

## ▶参考資料

プロジェクトマネジメント知識体系&lt;PMBOK&gt; (PMI)

## \*内容\*

1. プロジェクトとは
2. プロジェクトマネジメントとは
3. プロジェクトの成功とは
4. プロジェクトのライフサイクル
5. プロジェクトの目的の共有
6. 9つの知識エリアとプロセス
  - プロジェクト憲章
  - Work breakdown structure (WBS)
  - スコープ定義
  - リスクマネジメント
  - ステークホルダーマネジメント
7. プロジェクトマネジャーに求められる条件
8. チームの育成
9. プロジェクトの終結

## ▶受講者の声

- ・プロジェクトマネジメントについて必要な能力、資質について知ることができた
- ・日常の業務に生かせる内容が多く含まれていた
- ・過去にうまくいかなかったことに対して、どうして失敗したのかその手がかりを得ることができた
- ・受け身でなく能動的な研修で良かった

プログラム番号 I-016

## ルーブリック評価入門-ブレない・速い・楽チン成績評価のススメ- (夏期FD・SDスキルアップ講座)

遠隔

FD/SD

## \*主な対象

成績評価の厳密化と効率化を進めたい教員、カリキュラム・プログラム評価に関心のある教職員、人事評価に関心のある教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

清水栄子 (愛媛大学教育企画室)

## \*日時

8月21日(金)13:00~15:00

## \*場所

愛大ミュージアム階アクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

30名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. ルーブリック評価のメリットを説明することができる。
  2. 自らの授業で活用できるルーブリックを作成する。
- ※ルーブリックとは、教育・学習成果の評価の厳密化と効率化を進めるために使われる評価ツールです。

## \*内容\*

ルーブリックの作成手続きと様々な事例を紹介しながら、時間内に自らの授業で活用できるルーブリックを作成します。作成し

## ▶参考資料

ダネル・スティーブンス+アントニア・レビ (著) 佐藤浩章 (監訳) 2014『大学教員のためのルーブリック評価入門』玉川大学出版部 (購入の必要はありません)

項目	レベルA	レベルB	レベルC
知識	すべての領域の知識を正確に理解し、説明できる。	ほとんどの領域の知識を正確に理解し、説明できる。	一部の領域の知識を正確に理解し、説明できる。
理解	知識を深く理解し、その背景や関連性を説明できる。	知識を十分に理解し、その背景や関連性を説明できる。	知識を理解し、その背景や関連性を説明できる。
分析	知識を分析し、その強みや弱点を指摘できる。	知識を十分に分析し、その強みや弱点を指摘できる。	知識を分析し、その強みや弱点を指摘できる。
評価	知識を評価し、その価値を判断できる。	知識を十分に評価し、その価値を判断できる。	知識を評価し、その価値を判断できる。
創造	知識を創造的に応用し、新しいアイデアを生み出すことができる。	知識を十分に創造的に応用し、新しいアイデアを生み出すことができる。	知識を創造的に応用し、新しいアイデアを生み出すことができる。

## ▶準備物について

各自パソコンを持参してください。持参出来ない方は、貸出可能ですので、愛媛大学教育企画室までお問い合わせください (数量限定)。

たルーブリックは、他者と共有することができます。

1. ルーブリックとは何か?
2. なぜルーブリックを使うのか?
3. ルーブリックをどうやって作成するか?  
ルーブリック作成の4段階  
第1段階: 振り返り  
第2段階: リストの作成  
第3段階: グループ化と見出し付け  
第4段階: 表の作成
4. ルーブリック作成 (個人ワーク)
5. ブラッシュアップ (ペアワーク)

## ▶受講者の声

- ルーブリックとは、どのようなものであるべきか、深く理解することができました。学生・教員双方のためのルーブリック作りを行うことで、学習意欲を引き出せるのではないかと思います。
- これまでレポートや授業記録を提出させた後、教員コメントを書くのに手間・時間をかけていたのですが、今後は効率よく評価できると思います。また、授業態度の評価基準もきちんとしたものではなかったため、学生との合意でやれるのが双方のメリットになると思います。

プログラム番号 I-017

## 講義のための話し方入門〈夏期 FD・SD スキルアップ講座〉

遠隔 FD/SD

## \*主な対象

教員、とりわけ講義を受け持つようになって間もない教員 (I-019とセットで受講することが推奨されますが、単独受講も大歓迎です)。また、職員の参加も歓迎します。

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

小林直人 (愛媛大学教育企画室)、  
飯島永津子 (愛媛大学医学部教育協力者)

## \*日時

8月21日(金) 15:30~17:30

## \*場所

愛大ミュージック階アクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

40名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

## \*メロ

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 「学生中心の大学」の実現のために「よい」授業ができるようになる。  
⇒ 「良い」授業とは？
  - ・ わかりやすい授業
  - ・ 知的な緊張感のある授業
  - ・ 学生が積極的に参加し自ら考える授業
2. 講義をするときに注意が必要な話し方のコツを、講習中の実習を通して習得し、習得したことを自分の授業に生かすことができる。

## \*内容\*

1. イントロダクション
  - ・ 本日のメニュー
  - ・ 本日の目的と目標

## ▶受講者の声

- 子音でわかりにくい言葉の事例を聞いて納得。
- 自分では声は大きいし、大丈夫と思ってましたが、話し方には話す内容も大事だということを再認識しました。

## ▶参考資料

「大学教員のための授業方法とデザイン」  
佐藤 (編)、玉川大学出版部、2010

## 2. 講師が気をつけていること

- ・ 学生にとってわかりやすい話し方とは？
- ・ どうしたらわかりやすい話し方ができるか？
- ・ 発音しにくい言葉
- ・ 区別しにくい言葉

## 3. 実例を元に演習

- ・ 聞き手が理解しやすい話し方
- ・ どう話すか？の前に何を話すか？

## 4. 休憩とストレッチ

## 5. 外部講師 (教育協力者) による発声練習

- ・ 大きな声を出すためには？
- ・ はっきりと発音するためには？

## 6. まとめ・セルフアセスメント

- ・ あらためて、「良い」授業とは？

## 7. 質疑応答

どうしたら  
分かりやすい話し方ができるか？

—小林が気をつけていること—

- ・ ゆっくり話す・大きな声で話す
- ・ 子音をはっきり話す
- ・ 否定後や文末を強調する
- ・ アイ・コンタクトして話す
- ・ 聞き手に近寄って行って話す
- ・ 特に抑揚をつけて前後に間を入れて何度も繰り返して
- ・ キーワードを強調して話す
- ・ 粉らわしい言い方は避ける
- ・ 板書やプリントを併用する



プログラム番号 I-018

学習者の学習意欲を高める授業設計を行うためのインストラクショナル・デザイン (ID) 入門  
—ARCS 動機づけモデルの活用— (夏期 FD・SD スキルアップ講座)

FD/SD

## \*主な対象

授業等において、改善したい課題を持っている教員もしくは、インストラクショナルデザインに関心がある教職員。

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

仲道雅輝 (愛媛大学総合メディアセンター兼教育企画室)

## \*日時

9月4日(金) 13:00~15:00

## \*場所

愛大ミュージック階アクティブ・ラーニングスペース2

## \*受講定員

24名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

## \*メロ

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 「インストラクショナル・デザイン (ID / 教育設計)」が課題解決の方法論であることを説明できる。
2. 自分の授業を振り返り、到達目標を明確化するためのポイントが説明できる。
3. 学習者を動機づけるための一つの手法 (ARCS 動機づけモデル) を活用し、授業設計のヒントを得ることができる。

## \*内容\*

本プログラムでは、これまで自身が実施してきた教育に対する考え方や実施方法について見つめ直し、何が課題であるかについて考えるところからはじめ、教育をより効果的・効率的・魅力的にするための方法論であるインストラクショナルデザイン (教育設計) (以下、ID という) の中から、学習者を動機づけるための手法 (ARCS 動機づけモデル) や学習者の学びを支援するための働きかけに関する理論を事例とともに学び、ワークショップ形式にて課題解決策の糸口を探っていきます。

## ▶準備物について

筆記用具、具体的に改善したい課題がある場合はご自身のシラバスもしくは授業計画等

プログラム番号 I-019

## 大人数講義法の基本 (夏期 FD・SD スキルアップ講座)

遠隔のみ

FD/SD

## \*主な対象

教員、とりわけ講義を受け持つようになって間もない教員 (I-017とセットで受講することが推奨されますが、単独受講も大歓迎です)。また、職員も参加も歓迎します。

## \*対象校

SPOD全加盟校 (愛媛大学からの遠隔配信を受信できること、または受信できる施設にて受講すること)、ただし、愛媛大学内では受講できません。

## \*目標

右記参照

## \*講師

小林直人 (愛媛大学教育企画室)

## \*日時

9月8日(火)15:30~17:30

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 「学生中心の大学」の実現のために「よい」授業ができるようになる。  
⇒ 「良い」授業とは？
  - ・ わかりやすい授業
  - ・ 知的な緊張感のある授業
  - ・ 学生が積極的に参加し能動的に考える授業
2. 様々な授業スキルを、実際の体験を通して習得し、習得したことを自分の授業に生かすことができる。

## \*内容\*

1. はじめに 敵を知り己を知る
2. 「授業スキル」のいろいろ
3. 参加/体験型授業の例：グループワークを経験する
4. 「キーワード」を明示する
5. 休憩と質疑応答
6. 「板書」「プリント」の基本テクニック
7. 学生との「コミュニケーション」の基本テクニック
8. まとめとセルフアセスメント：あらためて、「よい」授業とは？

## ▶受講者の声

- 遠隔でこのような授業が可能であることを知ることができた点。
- 時間外学習についての考え方やツールがあることを知ることができた。
- 学生の反応を知る方法を獲得できた。
- 大教室でのコミュニケーションの手法が学べた。授業時間外学習を促すことが大事だということがわかった。

プログラム番号 I-020 **New!!**

## パワーポイントの基本的な使い方 (夏期 FD・SD スキルアップ講座)

FD/SD

## \*主な対象

パワーポイントの基本から、図形・写真・グラフ・動画の挿入・アニメーションについて学びたい方

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

都築和宏 (愛媛大学総合情報メディアセンター)

## \*日時

9月17日(木) 14:00~16:00

## \*場所

総合メディアセンター演習室4

## \*受講定員

40名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 書式とアウトライン
2. 文字・図形・写真・グラフの挿入
3. 動画の挿入・ハイパーリンクの活用
4. アニメーションを使う

## \*内容\*

1. 書式設定とアウトライン
  - ・ スライドマスターを使って全体統一
  - ・ アウトラインでプレゼンの骨格作り
2. スライドをつくる
  - ・ 文字の大きさを変える
  - ・ 図形の挿入
  - ・ ヘッダとフッタについて
  - ・ 画像データを貼り付ける
3. 動画の挿入・ハイパーリンクの活用
  - ・ 音声や動画データを挿入する
4. アニメーションを使う
  - ・ オブジェクトに動きをつける
  - ・ スライド間に動きをつける
5. 最終調整、資料準備編
  - ・ スライドの印刷
  - ・ スライドショー

## ▶参考資料



## ▶受講者の声

- 「初めて知ることが多くあった」
- 「内容も説明もわかりやすくて、とても役に立った」
- 「スライドマスター、配付資料マスターのことがよくわかった」

プログラム番号 I-021

## eラーニング活用(入門編)ー学習支援システム Moodle を活用して きめ細やかな学習支援を実現しようー(夏期FD・SDスキルアップ講座)

FD/SD

## \*主な対象

Moodleを使ってみたい、  
Moodleで何ができるのか、  
操作できるようになりたい教職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

佐々木隆志(愛媛大学総合情報メディア  
センター)、仲道雅輝(愛媛大学総  
合メディアセンター兼教育企画室)

## \*日時

9月18日(金) 13:00~15:00

## \*場所

総合メディアセンター演習室6

## \*受講定員

40名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発  
ネットワーク(SPOD)

## \*メ切

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 学習支援システム(LMS) Moodleを操作できるようになる。
2. Moodleを活用したeラーニングについて説明ができる。
3. Moodleでコースを作成できる。

## \*内容\*

1. Moodleコースが開設されるまで(登録方法)
2. Moodleとは
3. コースへのログイン
4. コンテンツ(文書&動画)のアップロード
5. フォーラム(掲示板)によるディスカッション
6. レポート課題の提出
7. 小テストの作成と実施
8. アンケート機能
9. 採点と成績(評定)の管理
10. メールの送信(クイックメール)
11. 受講ログの確認



## ▶受講者の声

「資料が充実していて、わかりやすく受講できました。」

「学生とのコミュニケーションが出来き、細かい指導が可能だと思いました。」

プログラム番号 I-022 **New!!**

## 高等教育機関における安全衛生

FD/SD

## \*主な対象

教員, 事務系職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

濱井盟子(愛媛大学医学部安全  
衛生管理室長), ほか

## \*日時

9月中旬

## \*場所

愛媛大学

## \*受講定員

30名

## \*主催

愛媛大学総務部人事課  
施設基盤部安全環境課

## \*メ切

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学総務部人事課  
E-mail: jinshoku@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. 高等教育機関の職員として求められる安全衛生についての素養を習得することができる
2. 担当職員等の実務が理解できる

## \*内容\*

- ・安全衛生の基礎知識
- ・高等教育機関の安全衛生の動向
- ・「大学安全衛生活動ガイドライン」を用いた実務研修

## ▶受講者の声

・他大学の取り組みや状況がよく分かったので、今後の参考にしていきたい

・他大学の同じような立場の方と話す機会が持て有意義だった

プログラム番号 I-023

## 動画教材作成法〈夏期FD・SDスキルアップ講座〉

FD/SD

## \*主な対象

動画編集の基礎と動画を取り入れた研究発表を行いたい方

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

都築和宏 (愛媛大学総合メディアセンター)

## \*日時

9月25日(金)14:00~16:00

## \*場所

総合メディアセンター演習室4

## \*受講定員

40名

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*メ切

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

1. Windowsムービーメーカーの基本操作の習得
2. 動画編集の習得
3. PowerPointで動画を表示



## \*内容\*

1. Windowsムービーメーカーとは
2. 動画編集 (カット, 並び替え, 長さの調整など)
3. テロップの表示
4. 各種形式ファイルへの書き出し
5. ムービーの再生
6. PowerPointでの表示

## ▶受講者の声

「授業で、例えば実験操作を映像にとって学生に示すことに役立てようと思っている。」  
「初めて動画の取り込みを経験したので是非講義に試してみた。」

プログラム番号 I-024

## アクティブラーニング入門セミナー

遠隔

FD/SD

## \*主な対象

教育経験の浅い教員、大学職員全般

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

小林直人 (愛媛大学教育企画室)

## \*日時

12月24日(木) 10:00~12:00

## \*場所

愛大ミューズ1階アクティブラーニングスペース2

## \*受講定員

40名

## \*主催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室 (教職員能力開発拠点)

## \*メ切

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

- (1) アクティブラーニングが必要な理由を述べるができる。
- (2) アクティブラーニングの教育手法のメリット・デメリットを具体的に説明できる。
- (3) 自ら担当する授業で活用できる (できそうな) アクティブラーニングの教育手法を列挙できる。
- (4) アクティブラーニングの教育手法を実践できる。

## \*内容\*

アクティブラーニングの基本的な考え方について学び、学生が授業に能動的に参加できるような様々な講義法の紹介を通して、ご自身の授業に取り込めるアイデアを考えることを目的としています。教員・学生間の双方向性を高める教育手法について、ご自身の授業で導入できるアクティブラーニングについて一緒に考えていきます。このセミナーの構成自体も、アクティブラーニングの考え方に基づいています。

## 学習項目

- (1) アクティブラーニングとは (10分)
- (2) 深い学びに関するミニ講義&ワーク (25分)
- (3) 多様な教育手法に関する双方向レクチャー (25分)
- (4) 教育手法を体験する「ペア・リーディング」 (10分)
- (5) ワーク「90分の授業をデザインしてみよう」 (40分)
  - ・ワークの説明
  - ・自身のシラバスを参考に1回の授業を抜き出す
  - ・多様な教育手法、クラスデザイン例を参考に1回の授業案を作成
  - ・ペアでシェア→全体でシェア
- (6) ラップアップ~学びの振り返り~ (10分)

▶準備物 自分が担当する授業のシラバス (もしあれば)

プログラム番号 I-025

# 学生の授業時間外学習を促すシラバス作成法 FD/SD

**\*主な対象**

これから授業を担当する教員、  
これまで作ったシラバスをより  
よいものにしたい教職員

**\*対象校**

SPOD全加盟校

**\*目標**

右記参照

**\*講師**

仲道雅輝 (愛媛大学総合メディア  
アセンダー兼教育企画室)

**\*日時**

1月14日(木) 15:00~17:00

**\*場所**

愛大ミュージック階アクティブ・ラーニングスペース2

**\*受講定員**

40名

**\*主催**

愛媛大学教育・学生支援機構教育  
企画室(教職員能力開発拠点)

**\*メー**

要問い合わせ

**\*申込先・問合せ**

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室  
E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

**\*目標\***

- ①シラバスの役割を説明できる。
- ②授業の「目的」と「目標」との違いを説明できる。
- ③適切な「目的」と「目標」を書くことができる。
- ④学習者が自学自習に励むようなシラバスを書くことができるようになる。

**\*内容\***

1. 授業デザインの考え方
2. シラバスとは何か?
  - ・定義
3. 授業題目・キーワードの書き方
  - ・わかりやすく書く
4. 目的の書き方
  - ・授業の目的の書き方
5. 目標の書き方
  - ・到達目標の書き方
6. 授業内容・スケジュールの書き方
  - ・無理のない進み具合
7. 授業時間外での学習を促す戦略
  - ・外発的・内発的動機づけによる学習課題に取り組みさせるコツ
  - ・eラーニングを活用した課題への取り組みませ方

**8. 受講条件の書き方**

- ・ニーズと授業内容のミスマッチ防止

**9. 受講ルールの書き方**

- ・受講のマナー

**10. 教材に関わる情報の書き方****11. 評価情報の書き方****▶準備物**

ご自分の授業のシラバスをご持参下さい

**▶参考資料**

『FDハンドブック第1巻』『FDハンドブック第2巻』(愛媛大学教育企画室作成)  
鈴木克明著『教材設計マニュアル-独学を支援するために-』(北大路書房)

**▶受講者の声**

- ・具体例が提示されており、自分のシラバス作成における対策がよくわかった。
- ・目標が成績評価項目になるという点が実感できた。
- ・自分が作成していたシラバスの良い点、改善点がわかった。
- ・評価の記述方法がわかった。
- ・個別の質問に丁寧に答えていただけた。





# SDプログラム

(職員対象)

プログラム番号 T-005, I-028, Y-008, I-033

## 次世代リーダー養成ゼミナール

SD

## \*主な対象

- 以下の条件を満たす者。
- ・40歳以下を原則とする
- ・各機関の長が推薦する者
- ・SPOD加盟校の職員
- ・次世代リーダー養成ゼミナール受講希望者は、受講申込時にスタッフ・ポートフォリオを提出すること
- ・受講にあたっての抱負が明確であり、受講申込時に文書(400文字程度)で提出できる者
- ・SPODが実施するプログラムのレベルⅡを修了した者、または、それと同等の能力があると認められた者

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

外部講師, SPOD内講師

## \*日時

- 第1回 5月21日(木)~23日(土)
- 第2回 7月16日(木)~18日(土)
- 第3回 11月5日(木)~7日(土)
- 第4回 1月21日(木)~22日(金)

## \*場所

- 第1回 徳島大学
- 第2回 愛媛大学
- 第3回 高知大学
- 第4回 愛媛大学

## \*受講定員

10名

## \*主催

SPOD

## \*メッセ

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育企画課  
E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目的\*

将来、事務職員がトップリーダー(経営者・管理者)として、大学等の経営を担うために必要な知識(理論)・技能(実践力)・態度を段階的に学び「巻き込み力」を発揮する人材を養成する。

## \*目標\*

## 【知識(理論)】

大学等の経営に必要な以下のことができる。

- ・高等教育に関する知識・理論(高等教育論, 高等教育史, 高等教育政策・行政, 教育関係法, 教育財政)を応用する。
- ・経営管理・戦略, 財政管理・戦略, 危機管理に関する知識・理論を応用する。
- ・リーダーシップに関する知識・理論を応用する。

## 【技能(実践力)】

上記の知識を利用して、大学等の大局的な運営に必要な以下のことができる。

- ・情報収集・分析を行う。
- ・企画策定・提案を行う。
- ・判断を行う。
- ・折衝・調整を行う。
- ・後継者育成を行う。

## 【態度】

- ・学生を中心とした教育活動に積極的に働きかけることができる。
- ・立場の違う構成員と協力して働くことができる。
- ・地域や高等教育界のニーズに応えることができる。
- ・リーダーとしてふさわしい言動をとることができる。

※講義科目については、SPOD加盟校職員も受講可能

## \*内容\*

プログラムは、「講義」「プロジェクト」「SD実践・演習」の3つの柱とし、段階的・体系的・継続的に開講する。

## 【1年目】

## 第1回 1日目

- ・オリエンテーション
- ・講話
- ・講義「リーダーシップ論Ⅰ」
- ・2年目生とのメンタリング実践Ⅰ

## 2日目

- ・2年目生によるプロジェクト実践Ⅱ講評(進捗プレゼンテーション)
- ・講義「高等教育政策論」
- ・プロジェクトマネジメント

## 3日目

- ・講義「大学のガバナンスとマネジメント」
- ・インストラクション・スキルⅠ(プレゼンテーションスキル)

## 第2回 1日目

- ・2年目生によるSD実践Ⅱ講評(模擬講義)

## 2日目

- ・プロジェクト実践Ⅰ(課題設定プレゼンテーション)
- ・講義「経営管理・戦略論」
- ・プロジェクト実践Ⅳ(ゼミ指導)

## 3日目

- ・講義「高等教育ⅠR」
- ・インストラクション・スキルⅡ(プログラム設計法)

## 第3回 1日目

- ・プロジェクト実践Ⅰ(課題設定プレゼンテーション)
- ※プロジェクト決定
- ・プロジェクト実践Ⅳ(ゼミ指導)
- ・2年目生によるSD実践Ⅲ(振り返り)

## 2日目

- ・講義「インストラクショナル・デザイン概論」
- ・2年目生とのメンタリング実践Ⅱ
- ・講義「SD論」



- 3日目  
 ・講義「危機管理論」  
 ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
- 第4回 1日目  
 ・2年目生によるプロジェクト実践Ⅲ（修了プレゼンテーション）  
 ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
- 2日目  
 ・メンター入門  
 ・ディベート演習  
 ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）  
 ・2年目生による発表「次世代リーダー養成ゼミナールを振り返って」  
 ・講話  
 ・修了式

## 【2年目】



- 第5回 1日目  
 ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）  
 ・1年目生へのメンタリング実践Ⅰ
- 2日目  
 ・プロジェクト実践Ⅱ（進捗プレゼンテーション）  
 ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）  
 ・SD実践Ⅱ（模擬講義）※事前レクチャー  
 ・SD実践Ⅰ（プログラム構築）
- 3日目  
 ・講義  
 ・1年目生によるインストラクション・スキルⅠ 講評（プレゼンテーションスキル）
- 第6回 1日目  
 ・SD実践Ⅱ（模擬講義）
- 2日目  
 ・1年目生によるプロジェクト実践Ⅰ 講評（課題設定プレゼンテーション）  
 ・講義  
 ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
- 3日目  
 ・講義
- 第7回 1日目  
 ・1年目生によるプロジェクト実践Ⅰ 講評（課題設定プレゼンテーション）  
 ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）  
 ・SD実践Ⅲ（振り返り）
- 2日目  
 ・研究法概論  
 ・講義「リーダーシップ論Ⅱ」  
 ・1年目生へのメンタリング実践Ⅱ  
 ・SD実践Ⅳ（トップリーダーとの対談）
- 3日目  
 ・講義「大学職員論」  
 ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
- 第8回 1日目  
 ・プロジェクト実践Ⅲ（修了プレゼンテーション）  
 ・プロジェクト実践Ⅳ（ゼミ指導）
- 2日目  
 ・インストラクション・スキルⅡ（シラバスのブラッシュアップ）  
 ・ディベート演習  
 ・最終口頭試問  
 ・発表「次世代リーダー養成ゼミナールを振り返って」  
 ・講話  
 ・修了式

## \*修了要件\*

- ・全日程の9割以上出席
- ・全ての課題（レポート、プレゼンテーション、ディスカッション、実践等）をこなし、合格すること
- ・最終口頭試問で合格すること
- ・全てのプログラムについてA～Dの4段階で評価し、総合判定A～Cの評価を得ること
- ・修了後は、SPODのSD講師に登録すること

## ▶受講者の声

- ・桜美林大学の山本先生など、興味深い講義が多く、今行っている業務以外の大学職員として身に付けるべき俯瞰的な知識を得ることができた。
- ・情報を収集し、プロジェクトを企画する想像力を身に付けることができた。
- ・俯瞰力、チーム構成員の能力を活かしていく力を身に付けることができた。チームで成功するためには、チームメイトをよく知るということ、局部的に見るのではなく、全体を常に見て先を見据えることの重要性を学んだ。

プログラム番号 K-012

# 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム (レベル1) 第1回 [新任職員研修] SD

## \*主な対象

新任職員 (H26年4月2日～  
H27年4月1日採用の職員)

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

## \*講師

高木健一郎、野口里美、海老野薫 (香川大学)、阿部光伸、吉田一恵、織田隆司 (愛媛大学)、島田くみこ (高知工科大学)

## \*日時

5月13日(水)～15日(金)  
(2泊3日)

## \*場所

香川大学

## \*受講定員

80名

## \*主催

香川大学、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*メット

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

香川大学給与福利グループ  
E-mail: jinsenm@  
jim.ao.kagawa-u.ac.jp

## \*内容\*

・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム (レベル1) のうち、3つの研修科目を実施する。

### ■コミュニケーション入門

\*目標\* 「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」より抜粋

- ・傾聴することができる
- ・周囲の者と積極的に会話することができる
- ・相手を問わず一定の態度をとることができる

#### \*内容\*

- ・コミュニケーションの基本
- ・よいコミュニケーションをとるために自分を理解する
- ・相手を理解する
- ・よりよいコミュニケーションをとるために傾聴のポイント
- ・質問のポイント



### ■ビジネスマナー入門編

\*目標\* 「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」より抜粋

- ・ビジネスマナーの基本を実践することができる
- ・基本的な電話対応、接客対応を行うことができる
- ・一般的なビジネス文書を作成することができる
- ・議事録を作成することができる

#### \*内容\*

- ・ビジネスマナーの必要性
- ・ビジネスマナーの基本
- ・電話対応
- ・来客対応・訪問のマナー
- ・ビジネス文書とは ～基礎知識～
- ・ビジネス文書作成のポイント
- ・議事録作成のポイント
- ・文書作成スキルを向上させるヒント

### (危機管理入門) ※ビジネスマナー入門の到達目標より科目立て

\*目標\* 「大学人・社会人としての基礎力養成プログラム」より抜粋

- ・危機管理の基本について説明することができる
- ・危機が発生した場合、まず自分がとるべき行動について理解し実行することができる

#### \*内容\*

- ・危機管理の基礎 ～はじめての危機管理～
- ・大学等の職員に求められる危機管理とは
- ・事件、事故の概観
- ・リスクマネジメントとは
- ・危機発生時の対応
- ・ケースメソッド



### ■職員キャリア形成入門

\*目標\*

- ・自分のキャリアを話すことができる
- ・自分のキャリアプランニングを作成することができる
- ・自己管理を行うことができる

#### \*内容\*

- ・今まで振り返って多面的に考える自分のキャリア
- ・自己理解する
- ・これからを考える ～この2年、10年を主体的に生きる～
- ・明日から動こう ～自分の目標設定とアクションプラン作成～

### ▶受講者の声

- ・コミュニケーションの講義を通して、どのように話をすれば伝わりやすいか、良い印象を持っていたか、どのような聴き方をすべきか学ぶことができた。今回学んだことを今後心掛けていきたい。
- ・危機管理やビジネスマナー、ビジネス文書等の基本的な内容をしっかりと学べた。それぞれの基本や注意点を学び、実際にシミュレーションや実践をすることでイメージを膨らませることができたので、業務にしっかりと活かしていきたい。
- ・これからの大学職員としてのあり方を学び、キャリア形成について考えることで将来のビジョンが見つかり、自身でも気付かなかった新たな気付きがあった。
- ・あまり前に出て積極的にコミュニケーションをとるのが得意な方ではないが、様々な人と自分から接点を持つことで、自分の世界を広げることができた。自身の意識を前向きにしていけることの大切さを強く感じた。

### ▶準備物について

未定

プログラム番号 I-031

## 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルI）第2回

SD

## \*主な対象

係員相当級の職員

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

## \*講師

丸山智子, 久保秀二, 大本盛嗣  
(愛媛大学)  
平田晋也(四国大学) ほか

## \*日時

11月19日(木)~20日(金)  
(1泊2日)

## \*場所

愛媛大学会議室

## \*受講定員

40名

## \*主催

愛媛大学, 四国地区大学教職員  
能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*メー

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育企画課  
E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## \*内容\*

・大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（レベルI）のうち、3つの研修科目を実施する。

## ■タイムマネジメント論

## \*目標\*

- ・上手な時間の使い方を説明することができる
- ・スケジュールの優先順位をつけることができる
- ・業務上の個人・係レベルのスケジュール計画・管理を行うことができる

## \*内容\*

- ・時間管理について
- ・タイムマネジメントの原則
- ・優先順位のつけ方
- ・仕事を円滑に進めるために



## ■リーダーシップ入門

## \*目標\*

- ・リーダーシップ（必要性、スタイル等）について述べるができる
- ・フォロワーシップ（必要性、手法等）について述べるができる
- ・自己の仕事レベルでリーダーシップを発揮することができる
- ・自己の仕事レベルでフォロワーシップを発揮することができる

## \*内容\*

- ・リーダーシップとは
- ・リーダーシップを発揮するための仕事力
- ・リーダーシップを発揮するための人間力

## ■プレゼンテーション入門

## \*目標\*

- ・相手に分かりやすい資料を作成することができる
- ・相手に分かりやすい説明をすることができる

## \*内容\*

- ・プレゼンテーションとは
- ・プレゼンテーションの基本
- ・分かりやすい話の組み立て方
- ・プレゼンテーション資料の作成
- ・話し方のポイント



## ▶受講者の声

- ・タイムマネジメント論の内容は、まさに現時点の自分の悩みを解決する糸口になった。帰ったらすぐに実践したいと思う。
- ・自分は部下という認識しかなかったが、今の立場としてのリーダーシップを発揮するという考え方を意識して、今後業務を進めていこうと思った。
- ・プレゼンテーションの研修は、段階的にワークを進めていたので、自分の欠点を明確に把握でき、また少しでも改善していけることを実感できた。

## ▶準備物について

未定

プログラム番号 I-030

## 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム (レベルⅡ) SD

**\*主な対象**

係長・主任相当級の職員

**\*対象校**

SPOD全加盟校

**\*目標**

右記参照

**\*講師**仲道雅輝, 丸山智子  
(愛媛大学)**\*日時**10月14日(水)~15日(木)  
(1泊2日)**\*場所**

愛媛大学会議室

**\*受講定員**

30名

**\*主催**愛媛大学, 四国地区大学教職員  
能力開発ネットワーク (SPOD)**\*メー**

要問い合わせ

**\*申込先・問合せ**愛媛大学教育企画課  
E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp**\*目標\***

- ・高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

**\*内容\***

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム (レベルⅡ) のうち, プロジェクト・イノベーション実践を実施する。

**■プロジェクト・イノベーション実践****\*目標\***

- ・新しい企画を提案することができる
- ・問題を見出し, プロジェクトとして企画することができる
- ・調査・企画ができ, 分かりやすい資料を作成することができる
- ・効果的な企画書を作成することができる
- ・効率性を考えて, 仕事をすることができる
- ・プロジェクトのスケジュール管理をすることができる
- ・プロジェクトの広報を行うことができる

**\*内容\***

- ・詳しい内容については, 愛媛大学教育企画課にお問い合わせください。詳細は決まり次第, SPODホームページ (<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>) に掲載しますので, ご参照ください。

**▶受講者の声**

- ・過去に上手くいかなかったプロジェクトに対して, どうして失敗したのか手がかりが得られた。
- ・改めて自分の仕事を振り返り, 改善すべき点を認識できた。
- ・自分の抱えているプロジェクトに利用できると思った。

**▶準備物について**

未定



プログラム番号 I-029

## 大学人・社会人としての基礎力養成プログラム研修 (共通科目)

SD

### \*主な対象

OA事務中級職員（業務で多数のExcel形式の表、データや帳票等を使用している方）

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

瀧本笑子（弓削商船高等専門学校）  
陣内恭子（愛媛大学）  
続木正博（松山東雲女子大学）

### \*日時

9月上旬

### \*場所

愛媛大学総合情報メディアセンター内演習室

### \*受講定員

40名

### \*主催

愛媛大学、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク（SPOD）

### \*大切

要問い合わせ

### \*申込先・問合せ

愛媛大学教育企画課  
E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

### \*目標\*

・高等教育機関の職員として一般的に求められている広汎な素養を習得することができる。

### \*内容\*

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム（共通科目）のうち、情報科学応用編 区分2「Access」を実施する。

### ■情報科学応用編「Access」基礎

（パソコンを用いた演習により、Microsoft Office Access2013の活用方法を習得します。）

### \*目標\*

- ・データベースとは何かを説明することができる
- ・データベースを設計・作成できる
- ・テーブルを作成できる
- ・リレーションシップを作成できる
- ・クエリを利用できる
- ・フォームの作成と編集ができる
- ・レポートを利用できる

### \*内容\*

- ・ Accessの基本操作
- ・ Accessの概要、画面構成、データベース操作など、Accessを操作するうえで知っておきたい基礎知識
- ・ データベースの設計と作成
- ・ テーブルによるデータの格納
- ・ フィールドの設定、主キーの設定、データ入力、データのインポートなど
- ・ リレーションシップの作成
- ・ クエリによるデータの加工
- ・ 共有フィールドの結合、演算フィールドの作成など、データを加工する方法
- ・ クエリによるデータの抽出と集計
- ・ 条件に合致するデータを抽出したり、データを集計したりする方法
- ・ レポートによるデータの印刷
- ・ データをさまざまな形式で印刷する方法
- ・ 便利な機能
- ・ ナビゲーションフォームの作成、ピボットテーブルとピボットグラフの作成、オブジェクトの依存関係の確認などデータベースを活用するときに役立つ便利な機能

### ▶受講者の声

- ・ Accessの一連の操作や仕組み、流れが分かり大変勉強になった。
- ・ 今まで他の人が作ったデータベースを見てもよく分からず、どこを編集してよくて、どこを触ってはいけないかわかりませんでした。今回受講したことで、安心して編集したり、データを活かすことができそうです。
- ・ Accessを使っていなかったものについても、Accessを利用することで業務の効率を上げていきたい。

### ▶準備物について

未定

プログラム番号 I-027, I-032

## 職員のための講師養成講座

SD

## \*主な対象

## 【1回目】(総論)

- ・将来SPOD-SD講師を目指す職員
- ・説明会、プレゼンテーション等、人前で話すときに自信を持ちたい職員

## 【2回目】(マイクロティーチング)

平成22年度～平成27年度職員のための講師養成講座を受講したSPOD加盟校の職員、次世代リーダー養成セミナーの修了生(1～4期生)

## \*対象校

SPOD全加盟校

## \*目標

右記参照

## \*講師

阿部光伸、丸山智子(愛媛大学)ほか

## \*日時

## 【1回目】(総論):

6月18日(木)～19日(金)

## 【2回目】(マイクロティーチング):

12月3日(木)～4日(金)

## \*場所

愛媛大学会議室

## \*受講定員

## 【1回目】(総論)

12名

## 【2回目】(マイクロティーチング)

10名

## \*主催

愛媛大学、四国地区大学教職員能力開発ネットワーク(SPOD)

## \*その他

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

愛媛大学教育企画課

E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## \*目標\*

- ・SPOD-SD講師としての心構えを持つことができる
- ・研修プログラムをデザインすることができる
- ・研修技法を述べることができる

## \*内容\*

## 【1回目】(総論)

講師として総合的に必要な心構え、知識、技法について研修を実施する。

## \*内容\*

- ・研修講師の役割と心構え
- ・研修プログラムデザイン
- ・レッスンプラン作成
- ・インストラクションの技術
- ・研修技法
- ・インストラクション演習

## 【2回目】(マイクロティーチング)

大学人・社会人としての基礎力養成プログラム(レベルI)の講師をすることに特化したマイクロティーチングを実施する。

※マイクロティーチングとは、教え方を学ぶ方法で、少人数で順番に短時間の講義とフィードバックを繰り返しながら、講義・説明・プレゼンのスキルアップを行う研修。教える技術だけでなく、学習者心理を経験し、フィードバック法を学ぶ。

## ▶準備物について

未定

## ▶受講者の声

- ・講義＝発表するには、まず自分や講義の内容を十分に理解することが必要であると実感し、これまでの自分を見直す大きなきっかけとなった。
- ・人前で話す際や講師をする際のいろいろなテクニックを教わり勉強になった。
- ・これまで学生向けのガイダンス等、人前で話す経験はあったが、それに対する評価を直接聞く経験はなかったので、自分の発表に対してリアルタイムでアドバイスいただける本研修は、大変勉強になった。





# プレFDプログラム

(大学院生対象)

プログラム番号 Y-009

# ファシリテーション力養成道場

プレFD

**\*主な対象\***

話し合いの質を高めたい学部生・院生、実際の授業でファシリテーターを経験したい学生

**\*対象校\***

SPOD全加盟校

**\*目標\***

1. ファシリテーターらしい言動について自分の言葉で説明できる。
2. 話し合いのコンテンツとプロセスを区別できる。
3. 話し合いの場のデザインのポイントを挙げられる。
4. 意識的に傾聴と質問ができる。
5. 話し合いの時にボードの横に立つことができる。
6. ファシリテーションについてさらに勉強しようと思える。

**\*講師\***

俣野秀典・塩崎俊彦（高知大学 大学教育創造センター）

**\*日時\***

2月9日(火)～10日(水)  
10:00～17:00

**\*場所\***

高知大学共通教育棟3号館1階 310教室

**\*受講定員\***

36名

**\*主催\***

高知大学コラボレーション・サポート・パーク

**\*メ切\***

開講日1週間前、先着順

**\*申込先・問合せ\***

高知大学学務部学務課  
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

**\*内容\***

本プログラムは、ファシリテーションの考え方を知り、必要最低限の知識・技術を習得することにより、話し合いのファシリテーションを実践できるようになることを目的に開催されます。

ミニレクチャーとワークを交互に織り交ぜながら進みますので、参加者全員がファシリテーションを体感することができます。

**1日目**

1. オープニング：趣旨の理解／アイスブレイク
2. FT（ファシリテーション）の考え方と基本を身につける I
3. FTの考え方と基本を身につける II
4. グループプロセスを観察する

**2日目**

1. アイスブレイク～模造紙にイロイロ書いてみよう
2. FG（ファシリテーション・グラフィック）の基本を身につける
3. FGのための図解の方法と板面の使い方
4. 総合演習

**▶参考資料**

畠中智子（2008）『つばやきの育て方』南の風社  
堀公俊（2004）『ファシリテーション入門』日経文庫

**▶参加者の声**

- ・社会的に通用する人間力を育成する機会になると思う。
- ・体験型で、グループワークも多く、とても楽しげな雰囲気でした。そのプロセスの中で自然と少しずつ身につけていくのが楽しかった。
- ・楽しかったです！サークルの話し合いが上手くいっていないので、FT道場で学んだことを早速使えそうです！
- ・2日間で本当にいろいろなことを学んだので、自分の中で整理しきれていない部分もたくさんありますが、全体を通して自分のためになった。
- ・グループワークが苦手で、どうしても1人でやりたくなってしまっているので、グループワークがとりあえずできるようになりたかった。話し合いの場が多いので、そこで活用してみたいと思った。





プログラム番号 Y-010, Y-011

## TA講習

ブレFD

### \*主な対象

2015年度第二学期および2016年度第一学期にTA, SA, FTを担当予定の者および将来担当希望の者

### \*対象校

SPOD全加盟校

### \*目標

右記参照

### \*講師

立川明(高知大学 大学教育創造センター)

### \*日時

2015年9月30日(水)13:30~17:00  
2016年3月30日(水)13:30~17:00

### \*場所

高知大学共通教育棟3号館1階  
310教室

### \*受講定員

TA担当予定の高知大生は制限無し

### \*主催

高知大学 大学教育創造センター

### \*メー

開講日1週間前

### \*申込先・問合せ先

高知大学学務部学務課  
E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

### \*目標\*

TAを担当する上で注意すべき事が3つ言える。  
TAの職務内容を3つ説明できる。  
ホウ・レン・ソウの重要性が分かる。

### \*内容\*

TAは学内で出来る手軽なバイトではありません。受講生から聞かれるままに何でも教えていたら、教員の意図した授業を台無しにしてしまいます。あなたの言動で受講生のやる気を高める場合もあれば、失わせる場合もあります。また、今まではまったく心配することなかったハラスメントの被害者にも加害者にもなる可能性があります。そしてあなたのこれからのキャリアの第一歩です。そんな機会を有意義なものにするために、以下の様なプログラムで実習します。

- ・グループ作り
- ・アイスブレイキング
- ・事務手続きについて(説明)
- ・TAとしての心得・注意点等(説明とグループワーク)
- ・職務内容(説明)
- ・社会人としての心得、ホウ・レン・ソウの重要性
- ・ふりかえり

### ▶受講者の声

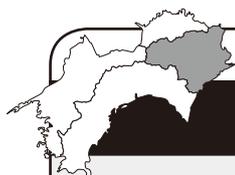
・受講生と接する時の対応方法などが重要だと感じました。特に、単に教えるのではなく、学習意欲の向上や、理解させられるように工夫しなければならないと思いました。

・TA, SAの役割として、生徒のやる気を引き出す、向上心をもたせるための動機づけがすごく大事だと分かりました。また、それらの役割を果たす上でも、学生との距離感がいかに大切かということが良く理解できた。自分の立場をしっかりと認識し、業務を行いたい。





# 総合プログラム



プログラム番号 T-004

# 大学教育カンファレンス in 徳島

FD/SD

## \*主な対象

教職員、学生、一般市民

## \*対象校

SPOD 全加盟校、その他高等教育機関

## \*目標

特色ある授業実践・授業改善例や学生支援、FD・SDの実践例を共有し、教育改善に生かす。

## \*発表者

教職員、学生

## \*日時

12月～1月の間の1日を予定しているが、詳細は未定

## \*場所

徳島大学  
共通教育4号館・5号館等

## \*受講定員

特になし

## \*主催

徳島大学 FD委員会  
四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

## \*メッセ

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ

徳島大学 総合教育センター  
吉田 博  
〒770-8502 徳島市南常三島町 1-1  
TEL 088-656-9865  
E-mail: t-spod@cue.  
tokushima-u.ac.jp

## \*内容\*

- ・特色ある授業実践例や授業改善例の発表と意見交換
- ・FD・SD実践例の口頭発表・ポスター発表と意見交換
- ・ワークショップによる模擬授業
- ・ラウンドテーブルによる課題の共有と意見交換
- ・教育・FD・SDに関する特別講演

## ○開催概要

- ・1年間の教育活動を総括する場で、四国の高等教育機関で行なわれている教育実践の先駆的な取り組みを共有し、大学教育の質的向上に向けた努力の成果を確認することを目的に開催する。
- ・各プログラムでは、各大学・部局における特色ある授業実践例や授業改善例などの報告・討議が行われ、その場で担当者と質疑応答ができ、より詳しい情報収集をすることができると。
- ・発表の形式には、口頭発表、ポスター発表があり、学外からの発表もできる。また、学生も発表筆頭者となることのできる。

## ○2014年度の実施概要

- ・ワークショップとして、3件：総合教育センターの金西計英教授と高橋暁子准教授による「反転授業」をやってみたー2014年度反転授業実施の中間報告ーと、大学院ソシオ・アーツ・アンド・サイエンス研究部の坂田大輔准教授による「学部専門科目を通じた教員養成ー『教職キャリアノート』に見る学生の学びからー」と、そして、四国学院大学の仙石桂子助教と本学の国際センターのGehertz三隅友子教授による「教育にインプロをとり入れてみようー自らの教育活動に活かすには?ー」が行われた。
- ・特別講演として、九州大学基幹教育院教育企画開発部の田中岳准教授による講演が「初年次におけるアクティブ・ラーニングの展開ー九州大学基幹教育カリキュラムを事例にー」と題して行われた。また、前年度に引き続きラウンドテーブル形式による発表1件があった。テーマは、「学生、または教員間で高い評価を受けた授業の実践」、話題提供者として、学外から2名（鳴門教育大学の余郷裕次教授、阿南工業高等専門学校の錦織浩文教授）と、本学の国際センターの坂田浩准教授の3名により行われ、それぞれの発表のあと全体での質疑応答があった。

## ○研究発表について（2015年度）

- ・発表者は、常勤・非常勤を問わず、SPOD加盟校の教職員・学生・院生から募集する。
- ・発表内容：全学共通(教養)教育、学部専門教育、大学院教育、公開講座等の授業に関わるもの、また、職員や学生の能力開発に関わるものであること。教育改善・授業改善や、職能開発に関する実践報告にとどまらず、実践成果の評価の分析、および考察を含む発表を歓迎する。

## ▶準備物

特になし。当日、発表抄録の配布あり。



【プログラム風景】（2014年度大学教育カンファレンスin徳島より）

## ▶参加者の声（2014年度大学教育カンファレンスin徳島より）

- ポスタープレゼンテーションで日頃から悩んでいたことについて質問できた。
- ラウンドテーブルでは他教科のお話が聞けて興味深かった。
- 多種多様なプレゼンを聞く事でより分かりやすい発表のノウハウを学べた。
- とてもアットホームな感じよかった。

プログラム番号 T-003, I-014 **New!!****大学マネジメントセミナー -次世代リーダーを目指して- ~2回シリーズ~** **FD/SD****\*主な対象\***

高等教育機関の教職員

**\*対象校\***

全国の高等教育機関

**\*講師\***山本真一（桜美林大学大学院）  
船戸高樹（前九州共立大学）  
秦敬治（追手門学院大学）  
中井俊樹（愛媛大学）**\*日時\***第1回  
5月22日(金)~23日(土)  
第2回  
7月17日(金)~18日(土)**\*場所\***第1回 徳島大学  
第2回 愛媛大学**\*受講定員\***

各回 40名

**\*主催\***

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

**\*その他\***

要問い合わせ

**\*申込先・問合せ\***愛媛大学教育企画課  
E-mail: kiyoiiku@  
stu.ehime-u.ac.jp**\*目的\***

国の提言や施策等、昨今の状況を踏まえた上で大学マネジメント（高等教育政策や経営管理・戦略等）に関する知識（理論）を学び、“次世代”のリーダーとしての能力を高めることを目的とする。

**\*内容\*****■第1回：【テーマ】高等教育の現状を知る**

【開催日時】平成27年5月22日(金)~5月23日(土)

【会場】徳島大学

1日目：高等教育政策論 講師：山本真一

**※目的※**

大学を取り巻く様々な政策を理解し、大学改革において必要とされるマネジメント力を発揮できるようになるための基礎を養う。

**※目標※**

- ・1990年代以降の大学改革について説明することができる
- ・我が国の大学の特徴を説明することができる
- ・大学を巡る諸環境の変化を説明することができる

2日目：「大学のガバナンスとマネジメント」 講師：船戸高樹

**※目的※**

ガバナンスとマネジメントの違いを理解し、戦略遂行のために自らに与えられた課題を解決する能力を養う。

**※目標※**

- ・ガバナンスとマネジメントについて説明することができる
- ・大学のガバナンスとマネジメントについて説明することができる
- ・大学改革におけるガバナンスとマネジメントの役割について説明することができる

**■第2回：【テーマ】高等教育における経営戦略を考える**

【開催日時】平成27年7月17日(金)~7月18日(土)

【会場】愛媛大学

1日目：「経営管理・戦略論」 講師：秦敬治

**※目的※**

高等教育経営に関する様々な分野を取り上げ、経営管理や組織のあり方、経営戦略などについて専門的に学ぶ。学習にあたっては、理論だけでなく、ケーススタディなどの手法も取り入れ、実践的側面についても理解を深めていく。

**※目標※**

- ・経営戦略について説明することができる
- ・高等教育経営を効果的に実践するためのマネジメント手法を説明することができる
- ・高等教育経営に関する様々な分野の情報を収集・分析し、経営戦略の策定ができる

2日目：「高等教育とIR」 講師：中井俊樹

**※目的※**

高等教育における計画立案、政策形成、意思決定を支援するために、データに基づく持続的な改善・意思決定（IR）を効果的・効率的に行うための問題解決方法を養う。

**※目標※**

- ・高等教育質保証について説明することができる
- ・Institutional Research (IR) について説明することができる
- ・諸外国におけるIRの展開について述べるすることができる
- ・日本におけるIRの展開について述べるすることができる
- ・課題を洗い出し、課題解決に取り組むことができる

**▶準備物について**

未定



プログラム番号 I-026

# 愛媛大学教育改革シンポジウム

FD/SD

## \*主な対象\*

愛媛大学の教育内容・方法の改善について興味を持っている教職員、学生等

## \*対象校\*

SPOD 全加盟校

## \*目標\*

ポスターセッションでの質疑応答や講演の傍聴を通じ、現在、愛媛大学で進めている教育内容・方法の改善に関する取組について理解を深める。

## \*講師\*

愛媛大学教員（愛大GP取組担当者）

## \*日時\*

3月中

## \*場所\*

愛媛大学城北キャンパス

## \*受講定員\*

特になし。入場自由。

## \*主催\*

愛媛大学教育改革諮問委員会

## \*その他\*

要問い合わせ

## \*申込先・問合せ\*

愛媛大学教育企画課  
E-mail : kiyoiuku@stu.ehime-u.ac.jp

## \*内容\*

愛媛大学では、平成18年度から、学内での優れた教育取組に支援を行う「教育改革促進事業」（愛媛大学GP）を行っており、採択取組の進捗状況と成果について情報発信することを目的に、毎年「教育改革シンポジウム」を開催しています。主に、採択取組のポスターセッションと講演を中心に行っており、特にポスターセッションでは、その場での質疑応答を通じて、取組担当者の生の声をきくことができます。



## ▶参考：愛媛大学GPとは

愛媛大学における優れた教育改革の取組を取り上げ、教育経費の重点配分を行い、教育の高度化・活性化を図る事業。学士課程及び大学院課程における組織基盤的な教育改革プログラムや組織横断的な教員グループによる創生的な教育開発プロジェクトを学内から公募。事業期間は2年間で、毎年15件程度の取組を採択。採択された取組の中には、さらに内容を発展させ、文部科学省のGPに応募、採択された例もある。

## ▶参考資料

平成26年度 採択プログラム・プロジェクト名	
理 学 部	理学部キャリア教育改革を通じた汎用的能力育成プログラム
医 学 部	その人らしい生活を支えることのできる看護職の育成 -地域の人々との関わりから学ぶ体験強化教育プログラム-
工 学 部	国際協働によるキャブストンプロジェクト教育の開発 -工学教育へ地域の課題を学生と解決するプロジェクト学習の導入-
国際連携推進機構	準正課教育による英語教育：ピア・ティーチングプログラム
法 文 学 部 他	文理融合型教育プログラム及び横断的FWのデザインと開発
法 文 学 部 他	日本語リテラシー教育の汎用化に向けての開発と実践
医 学 部 他	卒前・卒後共通シミュレーション医療教育プログラムの開発～インストラクショナル・デザインの手法を活用して～
農 学 部 他	学部を越えた教員チームによる汎用的能力育成のためのサービラーニング・プログラムの拡充と全学的展開
学生支援センター 他	一歩進んだ障がい学生支援 -障がい学生のエンパワメントと支援者支援の充実-
法 文 学 部	講演シリーズ・人文社会科学系学生のためのグローバル人材育成
法 文 学 部	共通教育科目「フランス語」用 E-ラーニング教材の開発
教 育 学 部	ICTを利用した保健室登校生徒の学習支援を通じた学部専門教育
教 育 学 部	附属幼稚園における教育実習後の実践力育成プログラムの開発と評価
理 学 部	先端研究機器を活用した学部学生による自主的な研究活動支援体制の構築
工 学 部	ICTを駆使した汎用的能力育成のための設計製図授業の確立（機能材料工学実験Ⅰ）
工 学 部	大学院入学進学者のための入学前技術英語教育プログラム
共通教育センター	ICTを活用した共通教育スポーツ系科目の「指導と評価」の改善
英語教育センター	初年次英語教育プログラムにおける修学支援体制の構築に向けて：リメディアル及びサポートクラスの試行

## ▶受講者の声

- 事例発表が参考になり、色々な可能性を自分で考えることができました。
- 学部学科を越えて取り組みを知ることができるのが、とてもよかったと思います。
- 共通教育と専門教育との連動性があり、一貫した教育につながれると思った。



# SPOD フォーラム 2015

FD/SD

## \*主な対象

教育改善に関心のある教職員

## \*対象校

SPOD 全加盟校

## \*日時

8月26日(水)～28日(金)

## \*場所

愛媛大学城北キャンパス

## \*主催

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)

## \*共催

愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室(教職員能力開発拠点)

## \*問い合わせ先

四国地区大学教職員能力開発ネットワーク事務局(愛媛大学教育学生支援部教育企画課)  
 TEL 089-927-9154  
 E-mail: spod@stu.ehime-u.ac.jp

## SPODフォーラムは…

大学等の教職員が自らの能力開発のために役立つ、多種多様で質の高いFD/SDプログラム、ならびに組織を超えた持続的な相互交流・関係づくりの場を提供します。

## 【SPODフォーラムの特徴】

### 特徴1. 多彩な講師陣

先進的な教育改革で知られる大学のトップ、各大学のFDやSDの第一線で活躍する教職員やディベロッパー、職場の人材育成・能力開発分野で活躍するプロフェSSIONALなど、多彩かつ魅力的な講師陣をそろえます。

### 特徴2. 職場で使える実践型プログラム

講師と受講者の間でのインタラクティブなワークショップ形式のプログラムを数多く開講します。参加者には意見を出し合い、知を共同で作り上げることが求められると同時に、職場ですぐに使える実践的なノウハウを持ち帰ることができます。

### 特徴3. SDプログラムも多数開講

SPODでは、FD(教員の能力開発)同様にSD(職員の能力開発)に力を入れており、他では体験できないプログラムを数多く開講します。

## 【SPODフォーラム2015のテーマ】

「学びの成果をどう可視化するか？」

## プログラムの一例

- ・学修成果の可視化とポートフォリオ
- ・事例報告「学習成果の可視化に向けて」
- ・教育データ解釈法入門：学びの成果の量的指標を読み解くために

最新情報は、WEBで随時更新していきますので、ご確認ください(昨年同様、WEB上のみでの申込みを予定)

<http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>







# 学内向け研修プログラム

# 学内向け研修プログラム

## 徳島大学

総合教育センター TEL: 088-656-9865 FAX: 088-656-9865  
E-mail: t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp 担当者/吉田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
授業コンサルテーション	「授業設計ワークショップ」受講者+希望者	随時	総合教育センターの教員が中心となり授業改善のためのコンサルティングを行う。方法としては、授業参観(ビデオ録画・学生アンケートを含む)を行い、それらのデータをもとに授業記録を作成し、授業研究会を行う。学部FD委員会と共催で開催する。
質保証のための分野別ワークショップ	学部・学科の教務委員、FD委員	随時	ミドルレベルのFDとして、各学科・専攻・コース単位でカリキュラムカップ・科目ナンバリングを作成するために必要な情報提供・フィードバック等の支援を行う。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 鳴門教育大学

経営企画本部総務課労務係 TEL: 088-687-6265 FAX: 088-687-6040  
E-mail: jnroumu@naruto-u.ac.jp 担当者/坂本

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任職員研修	新規採用者(教職員)	4月2日(木)	本学に採用になった職員に対し、本学の中期目標・中期計画を基に本学が達成すべき諸問題等について研修を行い、本学の職員として必要な基礎知識を養うことを目的とする。
企画力研修(予定)	中堅以上の事務職員	7~9月頃	本学職員の資質向上を目的とする。
分かりやすい資料の作り方研修(予定)	事務職員(パートタイム職員を含む)	7~9月頃	本学職員の資質向上を目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 香川大学

教育・学生支援室修学支援グループ TEL: 087-832-1153 FAX: 087-832-1155  
E-mail: gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp 担当者/石井

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
放送大学研修	事務系・技術系職員	第1学期: 4月上旬~ 第2学期: 10月上旬~	職務の遂行に必要な最新の知識の習得及び幅広い視野と見識を養うことによって、職員の資質の向上を図ることを目的とする。
新任教員研修会	新規採用者(全学教員)	4月中旬	本学の新任教員を対象に、国立大学法人を取り巻く諸情勢と本学の今後の課題及び大学教育等について、理解を深めることを目的とする。
全学共通教育の平成27年度実施に向けた研修会	全教員(特に平成28年度全学共通教育担当予定の教員)	12月上旬	全学共通科目担当にあたって、第1部では全学共通教育における現状と課題を把握し、現在取り組んでいる事業及び事務的な手続について知る。第2部では、各分科会に分かれ、授業改善に関する具体的な事例紹介と設定したテーマについての意見交換を行い、全学共通教育に関する理解を深める。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 愛媛大学

教育学生支援部教育企画課能力開発室 TEL: 089-927-8922 FAX: 089-927-8922  
E-mail: opar@stu.ehime-u.ac.jp 担当者/猪崎

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月2日(木)~3日(金)	新たに採用になった教職員に対し、本校職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
愛媛大学TA・SA研修会	TA・SAを活用する教員及び新TA・SA採用予定者	4月8日(水)	TA・SAの心構えや業務に就く際の注意事項を学び、わかりやすく教える技術を習得することを目的とする。
放送大学研修	事務系・技術系職員	第1学期: 4月上旬~ 第2学期: 10月上旬~	放送大学の授業受講を通じて職務遂行に必要な知識を修得させ、その資質の向上を図ることを目的とする。
有期契約職員研修	有期契約職員(事務系)	4月下旬	新たに採用になった有期契約職員(事務系)に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。

英 語 研 修	教職員, 有期契約職員	前期：5月上旬～ 後期：11月上旬～	職員の英語によるコミュニケーション能力の向上を図ることを目的とする。
総務系実務研修	事務系職員 (主に総務系以外)	6月下旬	大学改革の推進等により、大学の総務系事務も複雑多岐にわたることから、総務系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に総務系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。
会計系実務研修	事務系職員 (主に会計系以外)	7月下旬	大学改革の推進等により、大学の会計系事務も複雑多岐にわたることから、会計系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に会計系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。
研究支援・社会連携・国際連携系実務研修	事務系職員 (主に研究支援・社会連携・国際連携系以外)	11月下旬	大学改革の推進等により、大学の研究支援・社会連携・国際連携系事務も複雑多岐にわたることから、研究支援・社会連携・国際連携系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に研究支援・社会連携・国際連携系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。
人権啓発研修	教員及び 事務系職員	12月中	教職員に対し、人権問題についての正しい認識を養うとともに、人権侵害を防止し、より一層快適な教育環境及び職場環境を整えることを目的とする。
教育学 生 支援実務研修	事務系職員 (主に学務系以外)	12月上旬	大学改革の推進等により、大学の学務系事務も複雑多岐にわたることから、学務系TL等が講師となり、担当チームの事務分掌等について講義することにより、本学事務系職員に学務系事務の必要な知識を修得させるとともに、事務系職員のプレゼンテーション能力の向上を図ることを目的とし、職員相互の意識及び資質の向上を図る。
教育コーディネーター研修会	各学部の 教育コーディネーター	年4回程度	教育コーディネーター間の意思疎通を図り、教育改革の方向性について共通認識を持つことを目的としている。研修会テーマは毎回、全学的かつ重要な教育課題となるものを採りあげている。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

高知大学 学務部学務課 TEL：088-844-8652・8140 FAX：088-844-8367 E-mail：y-spod@kochi-u.ac.jp 担当者／徳弘，高橋			
研修名	対象者	開催時期	目的・内容
全学新任教職員研修	新規採用の 教職員	4月上旬	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
新任事務職員研修	新規採用の 事務職員(施設系 技術職員含む)	4月下旬	新たに採用となった事務職員に対し、本学の理念・目標など大学運営の基礎となる事項について理解させるとともに、新規採用職員として業務遂行に必要な基本的知識を習得させる。
放送大学研修	附属学校教員, 看護師等医療職 員,事務職員(技 術職員含む)	第1学期 4月上旬～ 第2学期 10月上旬～	自己啓発意欲の高揚と能力開発のために、放送大学の授業科目を受講して自己研鑽を行う機会を与えることにより、大学職員としての資質の向上を図る。
語学研修	窓口業務など 職務上外国語 能力を必要と する職員等	未定	語学力の向上を図るとともに、国際感覚を養う。
パソコン研修	パソコンの スキルアップを 希望する職員	未定	スキルアップの機会を提供し、日常業務の効率化に繋げることを目的とする。
事務職員研修報告会	全事務職員	各部(課) 随時 全学 12月頃	事務職員を対象に、研修受講者の発表能力(プレゼンテーション)の向上、受講しなかった者への情報提供等を目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 四国大学・四国大学短期大学部

総務・企画部総務課 TEL: 088-665-9900 FAX: 088-665-8037  
E-mail: soumu@shikoku-u.ac.jp 担当者/大恵

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新規採用教職員研修	新規採用者 (教職員)	4月上旬	本学教職員としての心構え並びに勤務にあたってこれからの教育や職務に対する必要な知識等を習得することを目的とする。
就業力育成セミナー	全教職員	8月	学生への「就業力育成」に関する意識の向上やノウハウを学ぶことを目的に実施する。
パソコン研修	教職員	8月・9月	情報セキュリティ対策の研修、ワード、エクセル等の練習問題に取り組みながら様々なテクニックを確認し、事務処理能力を向上していくことを目的とする。
大学事務運営懇話会	職員	9月	事務を本務とする職員が自らの研修と情報交換を行うことで、大学職員としての資質向上を図ることを目的とする。
人権教育研修会	教職員	9月中旬	人権尊重の徹底と人権啓発の充実及び人権への意識を高めることを目的とする。
キャリア相談研修会	全教職員	9月・2月	学生のキャリア相談に応じる力量を向上させることを目的に実施する。
ハラスメント防止研修会	教職員	1月	セクハラ、アカハラ、パワハラについての認識を深めるとともに、修学、教育研究、就労上のすべてのハラスメントの防止及び排除することを目的とする。
教育問題懇話会	教職員	未定	これからの教育諸問題に対する適切な対応や指導の在り方についてお互いに意見交換を行い、解決策を探っていく。
外国語研修	職員	9月	大学の国際化に対応し、職員の外国語によるコミュニケーション能力を向上させることを目的に実施する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 徳島文理大学・徳島文理大学短期大学部

教育・研究支援グループ TEL: 088-602-8670 FAX: 088-602-8781  
E-mail: kyokeng@tokushima.bunri-u.ac.jp 担当者/新見

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修会	新任教職員	4月3日(金) 4月6日(月)	新任教職員に対し、本学の教職員としての使命と心構えについて自覚させるとともに、服務及び学務について理解させ、業務遂行に必要な基礎知識と能力等を養成することを目的とする。
研究授業	全教員	前期及び後期	授業改善を目的とし、教員相互の授業参観を実施する。
防災研修・避難訓練	全教職員・ 全学生	12月初旬	火災・地震・津波に対応する知識の習得、防災担当の役割等の研修を通して災害時の対応の仕方を身につけることを目的とする。
セクシャルハラスメント防止研修会	全教職員	2月中旬	セクシャルハラスメント防止の講演会を開催する。
学内人権教育研修会	全教職員	2月中旬	人権教育の視点から、講演会を開催する。
AED(自動体外式除細動器)講習会	全教職員	2月下旬	救急体制強化のためのAED講習会を開催する。
FD研修会・講演会	全教職員	2月中旬	1年間のFD活動を報告後、テーマを絞った研修会を実施する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 徳島工業短期大学

庶務課 TEL: 088-672-2311 FAX: 088-672-2162  
E-mail: y.yamawaki@tokuco.ac.jp 担当者/山脇

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修	新任教員	4～6月	新たに採用になった教員に対し、本学職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識を得させる。
授業研究	全教育職員	6月	他の教員の授業を参観、意見交換することにより、個々の授業改善に取り組む。
S D 研修	全事務職員	未定	教務関係事務を端緒として、各課担当業務や大学関連法規についての基礎知識を得る。また国の教育改革の動向について概要や担当業務との関連を把握する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 香川県立保健医療大学

香川県立保健医療大学 TEL: 087-870-1212 FAX: 087-870-1212  
E-mail: hokeniryodaigaku@prof.kagawa.lg.jp 担当者/山口, 吉田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
ティータイム 教育サークル	教員	2月	学内教員による討議, 学外講師(SPOD講師以外)による新しい 取り組みの紹介など教員の教育面での資質向上のために開催する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 高松大学・高松短期大学

総務部企画課 TEL: 087-841-2164 FAX: 087-841-3064  
E-mail: kikaku@takamatsu-u.ac.jp 担当者/大芝

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者 (教職員)	4月1日(水)	新たに採用になった教職員に対し、本学職員としての使命と心構え を自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質 等を養成することを目的とする。
F D 研修会	専任教員, 非常勤講師	9月中旬 2月中旬	全教員を対象に、本学における教育の現状と課題について理解を深 め、具体的な対策を講じることを目的に、年2回実施する。
研究授業	専任教員, 非常勤講師	6月, 12月	授業の改善のために、各学部、学科で年2回研究授業を実施する。授 業後には検討会を行い、互いの授業改善に活かすことを目的とする。
S D 研修会	専任職員	8月上旬 1月上旬	活気のある事務局づくりを目指し、大学職員としての意識、知識、 資質向上を目的に、年2回実施する。
放送大学研修	専任職員	第1学期: 4月上旬~ 第2学期: 10月上旬~	放送大学の科目を履修することで、職員の資質向上及び自己啓発を 目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 愛媛県立医療技術大学

事務局経営企画グループ TEL: 089-958-2111 FAX: 089-958-2177  
E-mail: iryodai@epu.ac.jp 担当者/石原

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修	新規採用者 (教員)	4月予定	新たに採用した教員に対し、本学職員としての基礎知識等を伝える ことを目的とする。
SPOD内講師 派遣プログラム	学内教職員	7月予定	ティーチング・ポートフォリオ入門。
外部資金獲得 のための研修	学内教職員	9月予定	科研費取得のノウハウと事務的留意事項の研修を実施。
ハラスメント研修	学内教職員	12月予定	3年連続となるハラスメントに関する研修。様々な視点からハラ スメントを理解させることを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部

図書課 TEL: 089-993-0751 FAX: 089-993-0435  
E-mail: lib@catherine.ac.jp 担当者/玉岡

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修	新規採用者 (教員)	4月上旬	新たに採用になった教員に対して、本学教員としての使命と心構え を自覚させるとともに、本学の建学の精神、教育理念、業務遂行に 必要な基礎知識を養成することを目的とする。
F D 研修会	専任教員	未定	全専任教員を対象に、授業・教授法の改善、カリキュラム改善、組織の 整備・改善等、更なる教育力向上を図ることを目的として実施する。
事務職員研修会	事務職員	8月, 12月	時宜に応じたテーマの選定により、事務職員として必要な知識、情 報、技術の習得を図る。また、学外研修において得た知識や情報の 報告を行うことにより、その共有化を図るとともに、報告者のプレ ゼンテーション能力の向上を図る。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 松山東雲女子大学・松山東雲短期大学

TEL: 089-931-6211 FAX: 089-934-9055  
E-mail: tnaka@shinonome.ac.jp 担当者/中島

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者 (教職員)	4月2日(水)	新任教職員に対し、本学の建学の精神、学園の沿革および教育体制 等について理解を深めることを目的とする。
F D 研修会	教職員	年2回	全教職員を対象とし、外部の講師を招いて、ワークショップ形式の 研修会を開催する。
S D 研修会	事務職員	年2回	事務職員の能力向上を目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 今治明德短期大学

TEL : 0898-22-7279 FAX : 0898-22-7857  
E-mail : watanuki@meitan.ac.jp 担当者 / 綿貫

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
H27年度新任教職員研修会	新任教職員	4月初旬	本学に対する理解を深め、教職員としての自覚を醸成する。
大学職員のICT入門	全教職員	5月	昨年に続き、職務遂行に必要なICT技術を学ぶ。
公開授業	全教員	6～7月	学科から選出された授業を公開し、参観後にディスカッションして、授業の質の向上に繋げる。
学内FD研修会	全教員	9月	学外のSPOD講師による、教育方法の改善を目的とした研修をおこなう。
学生に対する授業評価	全学生	7月	在学生に対して、授業の満足度調査をおこない、授業の質の向上に繋げる。
卒業生に対する授業評価	2年生	H28年3月	2年生に対し、卒業直前に満足度調査をおこない、授業の質の向上に繋げる。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 環太平洋大学短期大学部

総務課 TEL : 0895-22-0274 FAX : 0895-22-0274  
E-mail : fujita@aitan.ac.jp 担当者 / 藤田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月初旬	新任教職員を対象に、本学の健学の精神・学園の沿革及び教育体制等について理解を深め、業務遂行の基礎知識を習得することを目的とする。
FD研修会	全教員	9月下旬	全教員の資質向上を図ることを目的とし、「教授改善・教授法」に関する研修を行う。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 阿南工業高等専門学校

総務課 TEL : 0884-23-7212 FAX : 0884-22-5424  
E-mail : s-hosasoumu@anan-nct.ac.jp 担当者 / 湯浅

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修	新任教員	4月	本校の目的や当面する諸課題等について研修を行い、本校の教員として必要な基礎知識を養うことを目的とする。
夏季教員研修会	全教員	9月下旬	教員の資質向上を目的として、年2回、時機にあったテーマを選び、講演会・分科会・ワークショップ等の形式による研修会を実施する。
冬季教員研修会	全教員	11月下旬	

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 香川高等専門学校

総務課 TEL : 087-869-3864 FAX : 087-869-3819  
E-mail : s\_hosa@t.kagawa-nct.ac.jp 担当者 / 十河

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教員研修	新任教員	4月・6月・10月	本学の新任教員に対して、教員としての心構えを自覚させるとともに、学校運営上必要な基礎知識の習得及び資質の向上を図ることを目的とする。
FD・SD研修会	全教職員	9月	香川高専の課題とその対応を討議することにより、全教職員がそれらを共有する機会とすることを目的とする。
教育実践事例報告会	全教職員	未定	学生の教育意欲を増進させる教育実践事例や創意工夫などFDに寄与する事項を公開することにより、教職員のFDに対する意識高揚を目的とする。
ハラスメント防止講習会	全教職員	未定	ハラスメント事案が発生した場合の対応や再発防止措置を実施するための講演会を開催する。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 新居浜工業高等専門学校

学生課教務係 TEL: 0897-37-7724 FAX: 0897-37-7844  
E-mail: kyoumu-c@off.niihama-nct.ac.jp 担当者/ 則包, 越智

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新任教職員	4月上旬	新たに採用になった教員に対し、本校教員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
学生相談に関する研修会	教職員	未定	学生が抱える種々の問題に対する理解を深め、学生の課題解決の支援を実施することができる教職員を養成する。
教育改善事例報告	教員	未定	教育改革に取り組んでいる実践的な事例報告を通して、各教員が教育改善への一助とする。
最優秀担任による学生指導事例報告	教員	未定	平成26年度に最優秀担任として選考された教員から、学生指導についての実践的事例を報告し、学級経営の一助とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 弓削商船高等専門学校

総務部人事係 TEL: 0897-77-4607 FAX: 0897-77-4692  
E-mail: jinji@yuge.ac.jp 担当者/ 横田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	4月1日	新たに採用になった教職員に対し、本校教職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

## 高知工業高等専門学校

総務課 TEL: 088-864-5601 FAX: 088-864-5606  
E-mail: s-hosa@jm-kochi-ct.ac.jp 担当者/ 山田

研修名	対象者	開催時期	目的・内容
新任教職員研修	新規採用者(教職員)	採用時	新たに採用になった教職員に対し、本校教職員としての使命と心構えを自覚させるとともに、業務遂行に必要な基礎知識、能力及び資質等を養成することを目的とする。
放送大学研修	教職員	1学期・2学期	放送大学高知地域学習センターの協力のもとに、職務遂行に必要な幅広い知識及び視野、基本的な社会知識を習得させ、教職員の資質の向上を図ることを目的とする。
心身の健康管理に関する講習会	教職員	未定	教職員の心身の健康管理について毎回テーマを絞り、正しい理解と対処方法についての知識を高めることを目的とする。
新任教員FD研修	本校に新採用となった教員	通年	通年にわたり、指導教員との相互授業参観や指導教員からの授業方法等に関するアドバイス等を受けることで、授業力や教育力を向上させ、学生によりよい授業が提供できる教員育成を目的とする。
FD研修会	全教員	8月、12月頃	テーマを絞った教育改善のための研修会を実施する。 (例) 学生の学ぶ意欲を引き出す授業とは?
教員の相互授業参観	全教員	7月～8月初旬	教員が相互に授業を参観し、授業改善への意識の向上を図るとともに、学生が授業に取り組む姿勢を見学して授業改善の必要性を感じてもらうことを目的とする。
学生による授業評価アンケート	全教員	7月、12月	学生による全科目の授業評価を実施し、その結果に対して、教員の振り返りコメントを入力させることにより授業改善への意識の向上を図るとともに、授業改善や工夫を喚起させることを目的とする。

※ここに記載されているプログラムは、他大学の方は参加できませんので、ご了承下さい。なお、詳細については各大学にお問い合わせ下さい。

各種研修プログラムの  
お申し込み・お問い合わせについて

徳島大学

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町1-1

【FDプログラム】

徳島大学 総合教育センター

(担当/吉田)

TEL : 088-656-9865 FAX : 088-656-9865

E-mail : t-spod@cue.tokushima-u.ac.jp

【SDプログラム】

徳島大学 総務部人事課SD担当

(担当/沖津)

TEL : 088-633-7017 FAX : 088-633-7474

E-mail : jinjihosak@tokushima-u.ac.jp

ホームページ <http://www.tokushima-u.ac.jp/>

香川大学

〒760-8521 香川県高松市幸町1-1

香川大学 教育・学生支援室修学支援グループ

(担当/石井)

TEL : 087-832-1153 FAX : 087-832-1155

E-mail : gakusenm4@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

ホームページ <http://www.kagawa-u.ac.jp/>

# 愛媛大学

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

## 【FDプログラム】

**愛媛大学 教育学生支援部教育企画課能力開発室**

(担当/猪崎)

TEL : 089-927-8922 FAX : 089-927-8922

E-mail : opar@stu.ehime-u.ac.jp

## 【SDプログラム】

**愛媛大学 教育学生支援部教育企画課**

(担当/神谷)

TEL : 089-927-9154 FAX : 089-927-8100

E-mail : spod@stu.ehime-u.ac.jp

ホームページ <http://www.ehime-u.ac.jp/>

# 高知大学

〒780-8520 高知県高知市曙町二丁目5-1

## 【FDプログラム】

**高知大学 学務部学務課**

(担当/徳弘, 高橋)

TEL : 088-844-8652 FAX : 088-844-8367

E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

## 【SDプログラム】

**高知大学 総務部人事課SD担当**

(担当/川崎)

TEL : 088-844-8140 FAX : 088-844-8367

E-mail : y-spod@kochi-u.ac.jp

ホームページ <http://www.kochi-u.ac.jp/JA/>

## ■お申し込み方法■

下記の内容を開催大学の申し込み先にメールで送付ください。

- ①氏名
- ②所属大学
- ③所属学部，所属部署など
- ④職種（教員，職員等）
- ⑤プログラム番号
- ⑥プログラム名

※遠隔配信プログラムをご希望の場合は，その旨も一緒にお知らせください。

各プログラムには受講定員があります。そのため，申し込み受付は先着順とさせていただきます。

SPODは，加盟校の皆様の会費によって運営しています。そのため，原則としてSPOD加盟校以外の教職員の皆様が研修プログラムを受講する場合には，研修料を徴収させていただきます。（研修料については下の表をご参照ください。）

区 分	2時間以下のプログラム	1日で終了するプログラム	1泊2日のプログラム	2泊3日以上プログラム	左記に関わらず外部委託する研修プログラムの研修料は，委託費の総額を受講定員で除した金額とする。
研修料	2,000円	3,000円	5,000円	7,000円	

【研修料に関するお問い合わせ先】

SPOD事務局（愛媛大学教育企画課）

TEL：089-927-9154 E-mail：spod@stu.ehime-u.ac.jp

## ■SPODホームページについて■

SPODホームページでは、研修プログラムやSPODフォーラムの内容を随時更新し公表しています。また、これまでのSPODの取組についても掲載しておりますので、是非ご参照ください。

The screenshot displays the SPOD homepage with the following elements:

- Header:** SPOD logo and title "四国地区大学教職員能力開発ネットワーク" (SPOD = Shikoku Professional and Organizational Development Network in Higher Education).
- Navigation:** TOP, SPODについて, 各種リンク, サイトマップ, and a search bar.
- Left Sidebar:**
  - イベント情報
  - SPODについて (設置目的, 規約, 取組内容, 関連情報, 加盟校一覧, 研修講師一覧)
  - 研修プログラムガイドを見る
  - 研修テキストを見る (FD: ファカルティディベロップメント, SD: スタッフディベロップメント)
  - 関連資料を見る (会議: 協議会等, 調査・報告)
  - メルマガ登録
  - 各種様式
  - 加盟校専用 (要ID, PW)
- Main Content:**
  - 学生豊かな学びと成長を支援する 実践的力をもった 高等教育のプロフェッショナルの輩出 (with map of Shikoku)
  - SPODフォーラム (S.P.O.D.)
  - 4月のイベント情報:
    - 【愛媛/研修/FD・SD】学生を眠らせない講義法のコツを4月7日(火)に開催
    - 【愛媛/研修/FD】効果的なグループワークの進め方を4月7日(火)に開催
    - 【愛媛/研修/FD】学生の学びやすさと学習意欲を高める授業設計一環型分析図の活用—を4月6日(月)に開催
    - 【愛媛/研修/FD】会議マネジメントを4月6日(月)に開催
  - 更新情報:
    - 【全体/報告/FD・SD】平成26年度活動報告書
    - 【全体/会議/FD・SD】平成26年度第8回SPODネットワークコア運営協議会(平成27年1月21日(水)開催)
    - 【全体/調査・研究プロジェクト/FD】SPODにおける新任教員研修の効果
    - 【全体/会議/FD・SD】平成26年度第7回SPODネットワークコア運営協議会(平成26年12月17日(水)開催)
    - 【全体/会議/FD・SD】平成26年度第6回SPODネットワークコア運営協議会(平成26年11月19日(水)開催)
- Footer:** Contact information for Ehime University and copyright notice for SPOD.

SPODホームページアドレス <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

## 研修プログラムガイド 2015

平成27年5月 発行

発行 四国地区大学教職員能力開発ネットワーク

(事務局：愛媛大学教育学生支援部教育企画課)

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

TEL/FAX 089-927-9154

E-mail [spod@stu.ehime-u.ac.jp](mailto:spod@stu.ehime-u.ac.jp)

ホームページ <http://www.spod.ehime-u.ac.jp/>

「四国地区大学教職員能力開発ネットワーク (SPOD)」は、  
加盟校の共同事業として運営しています。



SPOD=Shikoku

Professional and  
Organizational

Development Network in Higher Education

